

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2371 2007/05/10 (事故発生地) 栃木県	アクセサリ（髪飾り） 使用期間：約1年	校庭で遊んでいた女兒が、後ろを振り向いた拍子に、別の女兒と衝突し、付けていた髪飾り（ヘアクリップ）が目の上に当たり、髪飾りのつまみの片方が破断し、ばねの先端2本が眉を挟んで刺さり出血した。 (軽傷)	事故品の本体は樹脂製で、破面を観察したところ劣化等の異常は認められなかったことから、2者の偶発的な衝突によってつまみの部分が破断し、当該部分に覆われていた金属製ばねの先端がむき出しとなり刺さったものと推定される。 (F1)	製造事業者等が不明で、偶発的な事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2007/07/23)
2006-0116 2006/03/01 (事故発生地) 神奈川県	カイロ（靴用、使い捨て式） 使用期間：約1か月1回	カイロを靴の中に入れて駅に向かって歩いている途中、10分程で足が痛くなったので靴からカイロを取り出した。自宅に帰ると足の指が赤く腫れ、左の指2本に2度、右の指2本に2度と3度の熱傷を負った。 (重傷)	被験者による再現試験では15分後でもカイロ温度は44.1であった。使用方法によっては温度が上昇し火傷を負う可能性はあるものの、詳細な使用状況等不明であるため事故の原因は特定できなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2006/04/10)
2007-0375 2007/04/19 (事故発生地) 秋田県	カイロ（白金触媒カイロ） 使用期間：不明	木造2階建て住宅から出火して、約160平方メートルを全焼した。 (拡大被害)	被害者が白金カイロにベンジンを補充しようとした際に、こぼしたベンジンの拭き取りが十分でないままカイロに点火したため、カイロに付着していたベンジンに引火して炎が上がり、さらにカイロを床に落としたことから、床に置いてあったベンジンを拭き取ったティッシュペーパーに着火して一気に周囲に燃え広がって、火災に至ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/04/23)
2006-0709 2006/05/24 (事故発生地) 東京都	ガスライター 使用期間：約1年	1年前に100円ショップで購入したライターを点火したところ、底部に着火し、底が少し溶けた。 (被害なし)	事故の状況から、事故時にはライターからガスが漏れていた可能性があるものの、事故品のガスタンクには燃料が残っており、2～3回着火が可能であったことから、容器及び炎調整ボルト・リングの不具合があった可能性は低く、ガス漏れ試験においても漏れが確認できず原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2006/06/27)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1870 2006/09/27 (事故発生地) 愛知県	カッターナイフ 使用期間：約1日1回	カッターナイフを使用後、右手親指で調節レバーを動かしてカッターの刃を収納させる際に、後キャップが外れて右手の薬指と小指の先端を切った。 (軽傷)	事故品の後キャップの固定に問題は認められなかった。調節レバーを動かして後キャップを外し、飛び出したカッターの刃が指に触れて怪我をするには、後キャップを指に接触させながら外す必要があり、大きな力があることから、被害者は必要以上に大きな力で調節レバーを動かしたため、後キャップが外れてカッターの刃が飛び出し、指を切ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2006/11/07)
2007-3962 2007/10/20 (事故発生地) 石川県	カッターナイフ 使用期間：1回	カッターナイフ本体に組込まれた替え刃収納部分に替え刃を収納する際に、替え刃が引っかかり動かなくなったので力を入れて引き抜いたところ、刃先に左手親指を添えていたために替え刃で左手親指に裂傷を負った。 (軽傷)	事故品は、本体に2本のガイドレールが付いており、この内側に替え刃のつまみを格納する仕組みになっているが、ガイドレールの外側に替え刃つまみを誤って挿入したため替え刃が完全に格納しない状態で固定されたものと考えられる。被害者は替え刃が固定された際に、替え刃を引き抜くために力を加えたときに誤って刃先に左手親指を添えていたために左手親指に裂傷を負ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意による事故であるが、替え刃のつまみが誤って挿入された場合、替え刃がカッターナイフ本体に引っかかる問題について、今後、販売する製品については、替え刃つまみがガイドレールの外側に誤挿入されない形状に改良すると共に、消費者に注意を促すために取扱説明書を改善したうえで販売する。	消費者センター (受付:2007/10/26)
2007-3967 2007/08/00 (事故発生地) 京都府	サンダル 使用期間：約25日	サンダルの後ストラップの内側留め金具で、子供が両足首内側に擦過傷を負った。 (軽傷)	留め金具は、サンダル内側にやや張り出してはいるものの、バリや突起等の異常はなく、当該品が被害者の足に合わなかったために、着用時の動きによって足が留め具に擦られて、靴擦れの状態になったものと推定される。 なお、サンダルの内側足長は14.5cm、足幅6cmで、被害者の事故6ヶ月後の足長は右足16.0cm、左足15.5cm、足幅は左右とも7cmであり、購入の際にサイズあわせなどは行っていなかった。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるが、下げ札に「使用上、使用後に痛みを感じた場合は使用を控えてください。」との注意喚起をすることとし、また、留め具が張り出さないよう金型を変更することとした。	消費者センター (受付:2007/10/26)
2007-1924 2007/06/06 (事故発生地) 千葉県	サンダル(子供用) RICO 7PJPS8 051(ブランド:FIL A) 世界長(株) 使用期間：約2か月	子供用サンダルのマジックテープ式ストラップが、取り付け部の根元から破断し、幼児が転倒して膝を擦りむいた。 (軽傷)	当該ストラップの基布として、ヘアライン仕上げの発泡塩化ビニルを使用すべきところ、不織布を使用したため強度が不足し、着用時に破断して転倒に至ったものと推定される。 (A2)	当該品の販売を中止し、平成19年6月20日付の新聞及びホームページに社告を掲載し、製品の回収を行っている。	販売事業者 (受付:2007/06/20)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2348 2006/11/00 (事故発生地) 新潟県	ショッピングカート 使用期間：約3か月	ショッピングカートの本体フレームと袋が固定されておらず、袋がずれるためビニールひもで本体フレームに固定して使用したところ、袋がずれた際、引いていた右手がねじれて上がらなくなった。 (軽傷)	当該品は袋(トートバック)をマジックテープによって本体フレームに固定して使用する製品であったが、被害者が説明書に書いてあった袋の本体フレームへの取付方法を確認しないまま、ビニールひもで袋を本体フレームに固定したことから、使用中に袋がずれてバランスを崩した際、ショッピングカートの取っ手を持っていた手をねじったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2006/12/12)
2006-0429 2006/02/00 (事故発生地) 東京都	ステッキ(木製) 使用期間：約2年	男性が、歩行用の杖を使用したところ、手元部分が折れた。 (製品破損)	破断面は横一文字に割れ、にぎり部の内穴には分離したときに生じる可能性があるボルト木ねじ部による引っ掻き傷は無いことから、破断面に対して何らかの繰り返し荷重が加えられていたため事故が生じたものと推定されるが、どの時点から繰り返し荷重があったのか不明であり、木材の性質上、金属製に比べて耐久性等の品質がばらつくことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2006/05/17)
2006-3466 2007/02/17 (事故発生地) 滋賀県	スプレー缶(パソコン清掃用) 使用期間：不明	住宅の居間で、ファンヒーターの前に置かれていたパソコン清掃用のスプレー缶が爆発し、窓ガラスや引き戸が壊れ、家人が右足に軽い火傷を負った。 (軽傷)	石油ファンヒーターの前にスプレー缶を置いていたため、ファンヒーターの熱でスプレー缶が過熱され、内圧の上昇により爆発したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/02/20)
2006-1627 2006/09/29 (事故発生地) 岐阜県	スプレー缶(潤滑剤) CRC 5-56 呉工業(株) 使用期間：不明	細断中の紙が詰まってシュレッダーの刃が止まり、モーターがうなっていたため、刃の滑りを良くしようと潤滑剤スプレーを吹き付けてスイッチを切るうとした時、突然火を噴き顔全体に軽い火傷を負った。 (軽傷)	シュレッダーの刃にLPガスを使用した潤滑剤スプレーを吹き付けたため、シュレッダー内部に滞留したLPガスに、スイッチを操作した際の火花が引火したものと推定される。 なお、潤滑剤スプレーには、通電している電気製品等の近くで使用する場合の感電やショートによる発火に関する注意表示はあったが、LPガスが滞留しやすい構造で火花が発生する可能性のある電気製品等に対する十分な注意事項はなかった。 (A4)	製品ラベルに「シュレッダーなど、ガスがたまりやすい構造の電気製品には使用しない」旨追記するとともに、ホームページ上でも注意喚起することとした。 なお、当機構は平成19年5月11日付けの製品安全情報マガジン48号にて、シュレッダーのようにガスが抜けにくい電気製品には使用しない旨、注意喚起を行った。	消費者センター 製造事業者 (受付:2006/10/17)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1128 2006/08/20 (事故発生地) 富山県	スプレー缶（潤滑剤） CRCスーパー5-56 呉工業（株） 使用期間：1回	シュレッダーで裁断していたところ動かなくなったため、電源を切り刃の部分に潤滑剤スプレーを吹き付けた。その後、十数枚ほど正常に裁断できたが、また動かなくなったため、紙送りトリバースを繰り返したところシュレッダーから火が出て、右手に火傷を負った。	シュレッダーの刃にLPガスを使用した潤滑剤スプレーを吹き付けたため、シュレッダー内部にLPガスが滞留し、スイッチを操作した際の火花で引火して火が出たものと推定される。 なお、潤滑剤スプレーには、火花が発生する可能性のある電気製品や電動工具等に使用する場合の十分な注意事項を表示していなかったが、シュレッダー側には「可燃性のスプレーを使用しない」旨を表示している。	製品ラベルに「シュレッダーなど、ガスがたまりやすい構造の電気製品には使用しない」旨追記するとともに、ホームページ上でも注意喚起することとした。 なお、当機構は平成19年5月11日付けの製品安全情報マガジン48号にて、シュレッダーのようにガスが抜けにくい電気製品には使用しない旨、注意喚起を行った。	消費者センター (受付:2006/08/25)
2007-0510 2007/04/03 (事故発生地) 奈良県	スプレー缶（潤滑剤） CRC 5-56 呉工業（株） 使用期間：約2年	シュレッダーの用紙が詰まるため、潤滑剤スプレーを用紙投入口に吹き付けたところ、爆発して出火し、家人が軽い火傷を負い、着衣の一部が焦げた。	シュレッダーの刃にLPガスを使用した潤滑剤スプレーを吹き付けたため、シュレッダー内部に滞留したLPガスに、スイッチを操作した際の火花が引火したものと推定される。 なお、潤滑剤スプレーには、通電している電気製品等の近くで使用する場合の感電やショートによる発火に関する注意表示はあったが、LPガスが滞留しやすい構造で火花が発生する可能性のある電気製品等に対する十分な注意事項はなかった。一方、シュレッダー側には「可燃性のスプレーを使用しない」旨を表示している。	製品ラベルに「シュレッダーなど、ガスがたまりやすい構造の電気製品には使用しない」旨追記するとともに、ホームページ上でも注意喚起することとした。 なお、当機構は平成19年5月11日付けの製品安全情報マガジン48号にて、シュレッダーのようにガスが抜けにくい電気製品には使用しない旨、注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/07)
2006-2272 2006/12/04 (事故発生地) 岐阜県	スプレー缶（清掃用） 使用期間：約7か月	石油ストーブの上に置いたスプレー缶が破裂し、室内の天井や窓ガラスが壊れ、飛び散ったガラス片で屋外に駐車してあった自動車が破損した。	使用中の反射形石油ストーブの上にスプレー缶を置いてしまったため、石油ストーブの熱でスプレー缶が過熱し、内圧の上昇により破裂に至ったものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関 (受付:2006/12/08)
2007-1076 2002/06/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ-415NM コクヨS&T（株） 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤（2,3,5,6-テトラクロロ-4-メチルスルホニル）ピリジン）が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1077 2001/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1078 2006/06/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1079 2001/05/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1080 2006/06/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年 2 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1081 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1082 2005/07/00 (事故発生地) 鳥取県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約3か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1083 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1084 2000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1085 2000/07/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ - MX517N コクヨS&T(株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (重傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1086 2006/04/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - MX527N コクヨS&T(株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1087 2001/09/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - MX527N コクヨS&T(株) 使用期間：約5か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1088 2005/05/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット マ - 412NM コクヨS&T(株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1089 2006/10/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 4 0 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1090 2006/08/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 1 1 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1091 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1092 2006/08/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 4 2 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1093 2005/06/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 年 2 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1094 0000/00/00 (事故発生地) 滋賀県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1095 2002/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1096 2006/06/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1097 2006/06/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1098 2006/06/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1099 2005/05/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1100 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1101 2003/07/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 1 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (重傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1102 2004/05/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 4 0 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年 9 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1103 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1104 2006/06/00 (事故発生地) 茨城県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1105 2003/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1106 2004/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1107 2004/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1108 0000/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1109 2006/06/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1110 0000/00/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1111 2006/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1112 2006/08/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約5年5か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1113 2004/00/00 (事故発生地) 秋田県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1114 2003/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1115 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1116 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1117 2005/00/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1118 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1119 0000/00/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 4 1 3 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1120 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1121 0000/00/00 (事故発生地) 沖縄県	デスクマット マ - 5 2 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1122 2005/00/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1123 2003/08/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1124 2006/08/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ - 4 1 3 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 0 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1125 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 6 8 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1126 2003/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 4 6 8 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 4 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1127 2001/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1128 2004/03/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1129 2005/00/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1130 2006/06/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1131 2005/00/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ - 4 0 0 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1132 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1133 2005/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1134 2003/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1135 0000/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1136 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 4 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1137 2006/11/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1138 2004/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 5 1 5 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1139 2002/00/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1140 1999/09/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1141 0000/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1142 2001/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1143 2001/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1144 2006/08/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約6年5か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1145 2006/09/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 年 3 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1146 2004/06/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1147 1999/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1148 0000/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1149 2005/08/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1150 1998/04/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1151 1998/06/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1152 0000/00/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1153 2006/08/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 年 5 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1154 2005/10/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 年 2 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1155 2004/09/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 4 年 6 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1156 2003/06/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年 3 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1157 0000/00/00 (事故発生地) 沖縄県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1158 2003/12/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1159 0000/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 1 2 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1160 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1161 2004/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - MX547N コクヨS&T(株) 使用期間：約7年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1162 2004/09/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 428NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1163 2005/10/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 428NM コクヨS&T(株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1164 1998/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 468NM コクヨS&T(株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1165 2000/11/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1166 0000/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1167 2003/06/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1168 2006/04/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1169 2004/06/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：約5か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1170 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ-407NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1171 2005/12/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ-517N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1172 2006/08/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ-517N コクヨS&T(株) 使用期間：約2か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1173 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発生 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発生したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1174 1998/00/00 (事故発生地) 滋賀県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発生 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発生したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1175 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発生 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発生したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1176 0000/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 5 1 5 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発生 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発生したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1177 2005/00/00	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1178 2006/06/00	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1179 0000/00/00	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1180 2005/10/00	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：約 7 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1181 1999/06/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1182 2004/07/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (重傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1183 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ-447NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1184 0000/00/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ-415NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1185 2001/07/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年 3 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1186 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1187 0000/00/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1188 1999/00/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1189 2006/08/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1190 2006/07/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1191 2006/01/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1192 2006/01/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1193 2006/05/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1194 2005/06/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1195 2003/07/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約2年1か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/05/31)
2007-1200 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1201 2000/06/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1202 2006/08/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1203 2000/07/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1204 2006/04/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1205 2005/07/00 (事故発生地) 山形県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤 (2 , 3 , 5 , 6 - テトラクロロ - 4 - [メチルスルホニル]ピリジン) が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成 18 年 10 月 11 日から平成 19 年 5 月 29 日の間に計 8 回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成 18 年 12 月 13 日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1206 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤 (2 , 3 , 5 , 6 - テトラクロロ - 4 - [メチルスルホニル]ピリジン) が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成 18 年 10 月 11 日から平成 19 年 5 月 29 日の間に計 8 回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成 18 年 12 月 13 日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1207 2003/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤 (2 , 3 , 5 , 6 - テトラクロロ - 4 - [メチルスルホニル]ピリジン) が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成 18 年 10 月 11 日から平成 19 年 5 月 29 日の間に計 8 回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成 18 年 12 月 13 日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1208 2004/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤 (2 , 3 , 5 , 6 - テトラクロロ - 4 - [メチルスルホニル]ピリジン) が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成 18 年 10 月 11 日から平成 19 年 5 月 29 日の間に計 8 回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成 18 年 12 月 13 日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1209 2000/00/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1210 2006/11/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1211 2005/06/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1212 2005/05/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1213 2004/06/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1214 2000/06/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1215 2005/12/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1216 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ-447NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1217 1999/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1218 2005/07/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1219 2004/09/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1220 0000/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1221 2005/06/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 4 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1222 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1223 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1224 0000/00/00 (事故発生地) 鳥取県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1225 0000/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1226 2006/08/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1227 2006/06/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約5か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1228 2005/06/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約3年2か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1229 2004/07/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年 3 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1230 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1231 2006/12/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1232 0000/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1233 0000/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1234 2002/04/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1235 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1236 2005/04/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年3か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1237 2003/06/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1238 2004/09/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1239 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1240 2006/12/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1241 0000/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1242 0000/00/00 (事故発生地) 山口県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1243 2001/07/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約3か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1244 2004/03/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (重傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1245 2003/04/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1246 0000/00/00 (事故発生地) 山口県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1247 2003/06/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1248 0000/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1249 2004/06/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1250 0000/00/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1251 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 0 0 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1252 0000/00/00 (事故発生地) 高知県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1253 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 1 2 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1254 2007/01/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 1 2 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約9か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1255 0000/00/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 5 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1256 0000/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1257 2004/07/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1258 2005/06/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1259 2007/00/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1260 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 1 5 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1261 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1262 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1263 1999/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1264 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1265 2006/06/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 年 2 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1266 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1267 2005/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1268 2002/06/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 4 0 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1269 2006/06/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1270 2004/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1271 0000/00/00 (事故発生地) 山形県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1272 2005/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1273 2005/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 407NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1274 0000/00/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 417NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1275 1999/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - MX547N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1276 2005/07/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - MX547N コクヨS&T(株) 使用期間：約5か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1277 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1278 0000/00/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1279 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - M X 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1280 2006/12/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 1 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約5年11か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1281 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1282 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 4 6 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1283 0000/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1284 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1285 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1286 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ-416NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1287 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ-416NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1288 0000/00/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ-447NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1289 2004/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1290 0000/00/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1291 2006/06/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1292 0000/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1293 2006/08/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 407NM コクヨS&T(株) 使用期間：約9年4か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1294 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 547N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1295 2006/02/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ - 567N コクヨS&T(株) 使用期間：約3年3か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1296 2005/07/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ - 406NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1297 2006/05/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1298 2006/07/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1299 2006/09/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1300 0000/00/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1301 0000/00/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1302 0000/00/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1303 0000/00/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1304 0000/00/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1305 0000/00/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1306 2005/06/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1307 2005/06/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約2年4か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1308 2005/03/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 1 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約2か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1309 0000/00/00 (事故発生地) 山形県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1310 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ-406NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1311 0000/00/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ-506N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1312 2006/05/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ-447NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1313 2002/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 1 5 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1314 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1315 2006/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1316 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1317 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1318 2006/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1319 2006/09/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1320 2006/07/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 1 7 コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1321 2005/04/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 1 7 コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1322 2006/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 1 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1323 2006/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 1 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1324 0000/00/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1325 2003/06/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1326 2000/06/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1327 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1328 2005/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1329 2005/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1330 2004/07/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1331 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1332 2005/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 1 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1333 2006/09/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - MX567N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1334 1997/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - MX567N コクヨS&T(株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1335 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 407NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1336 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 417NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1337 0000/00/00 (事故発生地) 沖縄県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1338 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ-MX517N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1339 0000/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ-MX527N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1340 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ-417NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1341 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1342 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1343 2006/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約4年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1344 0000/00/00 (事故発生地) 和歌山県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1345 2002/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1346 2003/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1347 2004/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1348 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1349 2004/03/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/01)
2007-1496 2005/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/08)
2007-1498 2004/00/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約3年7か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/08)
2007-1499 2000/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約3か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/08)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1502 2004/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - 4 1 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/08)
2007-1503 2006/08/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 1 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 8 か月	デスクマットを使用していたところ、皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/08)
2007-1504 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/08)
2007-1620 0000/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1621 2000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1622 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1623 0000/00/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1624 2005/12/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1625 0000/00/00 (事故発生地) 奈良県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1626 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1627 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1628 0000/00/00 (事故発生地) 熊本県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1629 2006/08/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1630 0000/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - 4 6 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1631 0000/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - 4 6 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1632 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1633 0000/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1634 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1635 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1636 2006/06/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1637 2004/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1638 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1639 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1640 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1641 2003/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 0 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1642 0000/00/00 (事故発生地) 滋賀県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1643 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1644 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1645 2002/00/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1646 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1647 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1648 2007/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1649 0000/00/00 (事故発生地) 秋田県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1650 2005/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1651 2002/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1652 2004/08/00 (事故発生地) 山形県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1653 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1654 1999/03/00 (事故発生地) 富山県	デスクマット マ - 4 6 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1655 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1656 2005/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約5年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1657 2004/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1658 2004/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1659 2005/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1660 2002/08/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 6 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約2年4か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1661 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1662 0000/00/00 (事故発生地) 栃木県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1663 2002/02/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1664 2005/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1665 2005/06/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 6 8 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1666 2006/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1667 2000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1668 2005/12/00 (事故発生地) 滋賀県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1669 2004/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1670 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1671 2006/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1672 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1673 0000/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1674 1999/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1675 0000/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1676 2006/00/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1677 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1678 0000/00/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ - 4 1 7 M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1679 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1680 2004/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1681 2006/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1682 0000/00/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ-406NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1683 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ-447NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1684 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ-507N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1685 0000/00/00 (事故発生地) 栃木県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1686 2003/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1687 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1688 2004/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1689 2006/06/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - 4 1 2 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1690 1997/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 6 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1691 1999/06/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 4 0 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1692 1999/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1693 2006/06/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1694 1999/00/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ - 5 1 5 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1695 2006/06/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約2か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1696 2005/06/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1697 2005/05/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 0 0 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1698 2000/05/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 0 0 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1699 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1700 2002/00/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1701 2005/08/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1702 2004/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約3年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1703 1999/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1704 1999/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1705 2005/00/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1706 2006/06/00 (事故発生地) 高知県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1707 2006/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1708 2000/08/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 8 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1709 0000/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1710 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1711 2003/03/00 (事故発生地) 栃木県	デスクマット マ - 4 1 3 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1712 2005/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約3年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1713 2004/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年 9 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1714 0000/00/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 4 1 2 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1715 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1716 0000/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 4 6 8 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1717 2001/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1718 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1719 2006/12/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1720 0000/00/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1721 0000/00/00 (事故発生地) 沖縄県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1722 2001/00/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット マ - 5 1 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1723 2006/04/00 (事故発生地) 和歌山県	デスクマット マ - 4 0 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1724 2006/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 4 1 7 M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1725 2005/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1726 0000/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1727 2001/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1728 2006/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1729 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 0 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1730 2006/06/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 0 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1731 0000/00/00 (事故発生地) 岐阜県	デスクマット マ - 4 1 2 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1732 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1733 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1734 2006/09/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1735 2006/08/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1736 2006/06/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1737 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1738 2006/08/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1739 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 4 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1740 2004/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 1 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1741 2000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 1 3 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1742 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 1 2 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1743 2004/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 5 M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1744 0000/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1745 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1746 2002/06/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1747 2003/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1748 2003/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1749 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1750 2006/02/00 (事故発生地) 沖縄県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1751 0000/00/00 (事故発生地) 富山県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1752 2005/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約3年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1753 2004/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1754 2006/12/00 (事故発生地) 栃木県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1755 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1756 2001/00/00 (事故発生地) 山形県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1757 2006/03/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1758 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1759 2002/00/00 (事故発生地) 滋賀県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1760 2000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1761 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1762 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1763 2004/06/00 (事故発生地) 栃木県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1764 2002/00/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1765 2000/00/00 (事故発生地) 栃木県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1766 2007/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1767 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1768 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1769 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1770 0000/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1771 2006/05/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 1 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1772 0000/00/00 (事故発生地) 栃木県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1773 2001/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1774 0000/00/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1775 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1776 0000/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 4 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1777 2005/07/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 1 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年 3 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1778 2006/12/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1779 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1780 2006/12/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1781 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1782 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1783 2007/02/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1784 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1785 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1786 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1787 2001/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1788 2001/05/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1789 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1790 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - MX 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1791 0000/00/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1792 0000/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 4 0 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1793 2006/07/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1794 2004/00/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約3年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1795 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1796 2006/00/00 (事故発生地) 沖縄県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1797 0000/00/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ - 4 1 5 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1798 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1799 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1800 0000/00/00 (事故発生地) 熊本県	デスクマット マ - 4 6 8 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1801 2005/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1802 0000/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1803 0000/00/00 (事故発生地) 沖縄県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1804 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1805 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1806 0000/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1807 2004/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約3年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1808 2002/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1809 2002/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1810 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1811 0000/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1812 0000/00/00 (事故発生地) 富山県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1813 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1814 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1815 2006/00/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1816 0000/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1817 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1818 0000/00/00 (事故発生地) 山口県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1819 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1820 0000/00/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1821 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1822 0000/00/00 (事故発生地) 茨城県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1823 2005/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1824 0000/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1825 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1826 2006/11/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 5 1 5 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1827 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - MX 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1828 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-1829 0000/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1830 0000/00/00 (事故発生地) 山口県	デスクマット マ - 5 1 3 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1831 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - M X 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1832 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - M X 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1833 0000/00/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1834 2003/00/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1835 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)
2007-1836 0000/00/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。 なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/14)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-1893 2006/00/00 (事故発生地) 熊本県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/06/19)
2007-2104 2007/03/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/03)
2007-2105 1999/00/00 (事故発生地) 奈良県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/03)
2007-2448 2006/10/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (重傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2449 2004/01/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (重傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2450 2006/07/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年 2 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2451 2004/06/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2452 2006/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 4 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2453 2006/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2454 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2455 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2456 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2457 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - MN547N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2458 2007/01/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ - 567N コクヨS&T(株) 使用期間：約4年2か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2459 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 427NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2460 2001/03/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - MX527N コクヨS&T(株) 使用期間：約3か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2461 2005/06/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：約2か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2462 0000/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ-MX547N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2463 2006/02/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ-547N コクヨS&T(株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (重傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2464 2007/01/00 (事故発生地) 秋田県	デスクマット マ-506N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2465 1998/04/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2466 0000/00/00 (事故発生地) 鳥取県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2467 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2468 2007/05/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2469 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2470 2006/08/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 7 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2471 2003/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2472 2000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 1 3 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2473 2005/04/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 1 3 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2474 2005/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2475 0000/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 1 5 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2476 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 1 2 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2477 2005/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 8 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2478 2006/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2479 2006/06/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 6 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2480 2006/00/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2481 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - MX527N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2482 0000/00/00 (事故発生地) 栃木県	デスクマット マ - 507N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2483 0000/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 567N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2484 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 568N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2485 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2486 0000/00/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2487 2001/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2488 2006/09/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2489 0000/00/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット マ - 4 0 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2490 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 0 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2491 2007/05/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット マ - 4 1 1 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2492 2001/08/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ - 4 1 2 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2493 2000/00/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2494 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2495 2003/00/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 4 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2496 0000/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2497 2005/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2498 2004/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2499 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2500 2007/05/00 (事故発生地) 群馬県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約8年2か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2501 0000/00/00 (事故発生地) 和歌山県	デスクマット マ - 4 4 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2502 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 4 6 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2503 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 6 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2504 0000/00/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2505 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2506 0000/00/00 (事故発生地) 岐阜県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2507 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 2 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2508 2006/06/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2509 2006/06/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2510 2006/06/00 (事故発生地) 岩手県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2511 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2512 2006/06/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - 5 4 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2513 0000/00/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2514 2002/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2515 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2516 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2517 0000/00/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2518 0000/00/00 (事故発生地) 滋賀県	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2519 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2520 0000/00/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット マ - MX 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2521 0000/00/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ - MX 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2522 0000/00/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ - MX 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2523 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2524 2001/00/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - 4 0 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2525 0000/00/00 (事故発生地) 沖縄県	デスクマット マ - 4 1 3 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2526 0000/00/00 (事故発生地) 滋賀県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2527 2004/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約5年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2528 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 2 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2529 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 4 7NM コクヨS & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2530 0000/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 4 7NM コクヨS & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2531 0000/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 4 7NM コクヨS & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2532 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨS & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2533 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2534 0000/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2535 0000/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2536 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2537 2002/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 5 1 3 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2538 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2539 0000/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2540 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2541 2007/05/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2542 2006/06/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2543 2007/04/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2544 0000/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2545 0000/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2546 2006/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約3年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2547 2004/12/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年1か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2548 2002/00/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2549 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2550 0000/00/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - MX 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2551 2004/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - MX 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2552 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 0 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2553 1999/06/00 (事故発生地) 和歌山県	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2554 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2555 2007/04/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2556 2004/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 4 1 5 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2557 2004/00/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2558 1999/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 6 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2559 1999/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 6 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2560 2004/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2561 2006/10/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2562 0000/00/00 (事故発生地) 和歌山県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2563 2006/06/00 (事故発生地) 鳥取県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2564 2007/05/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2565 2001/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - MX 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間: 約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-メチルスルホニル)ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2566 2004/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 1 5 N M コクヨ S & T (株) 使用期間: 約 4 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-メチルスルホニル)ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2567 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 4 1 5 N M コクヨ S & T (株) 使用期間: 不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-メチルスルホニル)ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2568 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間: 不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-メチルスルホニル)ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2569 2005/05/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2570 2006/10/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 7 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2571 2005/06/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2572 0000/00/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ - M X 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-2573 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2574 2007/05/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 5 1 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2575 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2576 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2577 2002/00/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2578 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2579 2002/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 1 2 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2580 2003/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 5 1 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2581 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - 4 1 6 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2582 2005/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2583 2007/06/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2584 2007/06/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ - 4 1 2 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2585 2005/06/00 (事故発生地) 富山県	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2586 2004/00/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット マ - 5 2 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 4 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2587 2001/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2588 2006/06/00 (事故発生地) 鹿児島県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2589 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2590 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2591 2006/04/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約6年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2592 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2593 0000/00/00 (事故発生地) 熊本県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2594 2000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2595 2002/06/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-2596 2006/04/00 (事故発生地) 山口県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2597 2006/05/00 (事故発生地) 山口県	デスクマット マ - 500N コクヨ S & T (株) 使用期間: 約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/07/26)
2007-3982 2003/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 406NM コクヨ S & T (株) 使用期間: 不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3983 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 417NM コクヨ S & T (株) 使用期間: 不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3984 2007/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 517N コクヨ S & T (株) 使用期間: 約 2 年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-3985 2007/01/00 (事故発生地) 長野県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 4 年 2 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3986 1999/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3987 2004/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3988 2006/08/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-3989 2006/08/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3990 2006/09/00 (事故発生地) 山梨県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3991 2004/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3994 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 1 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-3995 2007/03/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3996 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3997 2004/05/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-3998 0000/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-3999 2007/04/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4000 2002/04/00 (事故発生地) 栃木県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4001 0000/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4002 2006/10/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4003 2004/05/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4004 2007/02/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4005 2006/11/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4006 2004/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4007 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4008 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4009 2007/02/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4010 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4011 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4012 0000/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4013 2006/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約4年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4014 2005/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約7年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4015 2003/09/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 年 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4016 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4017 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - M X 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4018 2007/04/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4019 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4020 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4021 2007/02/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4022 2006/01/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - 4 1 5 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 9 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4023 2006/11/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 7 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4024 2006/11/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 4 年 7 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4025 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4026 2005/06/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4027 2007/03/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4028 0000/00/00 (事故発生地) 宮崎県	デスクマット マ - 4 2 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4029 2002/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4030 2000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 0 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4031 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4032 2007/05/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 4 1 2 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約2年3か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4033 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4034 2004/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約5年1か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-4035 2007/05/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4036 2006/06/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4037 2006/06/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4038 0000/00/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4039 0000/00/00 (事故発生地) 島根県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4040 2006/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4041 2001/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4042 0000/00/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4043 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4044 2005/00/00 (事故発生地) 宮城県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4045 2002/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4046 2007/03/00 (事故発生地) 新潟県	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4047 2006/06/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 4 2 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4048 0000/00/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ - 4 4 7 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4049 2003/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4050 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 4 1 5 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-4051 0000/00/00 (事故発生地) 富山県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4052 0000/00/00 (事故発生地) 富山県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4053 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4054 2006/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4055 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4056 2007/06/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4057 2004/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 4 1 2 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4058 2004/00/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4059 2005/07/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 4 6 8 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 5 年 1 か月	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4060 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4061 0000/00/00 (事故発生地) 富山県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4062 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4063 2002/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4064 2006/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4065 2006/00/00 (事故発生地) 岐阜県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4066 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 1 2 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4067 0000/00/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4068 2007/06/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4069 2007/05/00 (事故発生地) 富山県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4070 2002/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4071 0000/00/00 (事故発生地) 沖縄県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4072 2004/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4073 2007/05/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 5 0 0 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4074 2006/06/00 (事故発生地) 広島県	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4075 2007/06/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4076 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ-547N コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4077 2004/10/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット 不明 コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4078 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ-407NM コクヨS&T(株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4079 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4080 2001/06/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4081 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4082 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2007-4083 0000/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4084 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4085 2004/00/00 (事故発生地) 埼玉県	デスクマット マ - 5 1 5 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4086 0000/00/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - M X 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4087 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 6 8 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4088 0000/00/00 (事故発生地) 愛媛県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4089 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4090 0000/00/00 (事故発生地) 香川県	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4091 0000/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 4 0 0 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4092 2003/08/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 6 8 M N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4093 1998/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4094 2006/08/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 5 0 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 6 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-〔メチルスルホニル〕ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4095 2006/07/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4096 2006/12/00 (事故発生地) 三重県	デスクマット マ - M X 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4097 2007/05/00 (事故発生地) 徳島県	デスクマット マ - 4 1 2 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約7年10か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4098 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4099 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - MX 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4100 2004/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 4 2 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4101 2007/06/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - MX 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4102 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4103 2002/00/00 (事故発生地) 長崎県	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4104 2006/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 4 6 8 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4105 2007/06/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4106 2006/11/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4107 2007/07/00 (事故発生地) 神奈川県	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4108 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - MX 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4109 2000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 1 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約1年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4110 2005/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4111 2005/06/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 4 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 3 年 1 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4112 0000/00/00 (事故発生地) 静岡県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4113 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - M X 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4114 2007/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者日
2007-4115 2007/06/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 4 6 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤（2, 3, 5, 6 - テトラクロロ - 4 - [メチルスルホニル]ピリジン）が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4116 0000/00/00 (事故発生地) 福島県	デスクマット マ - 5 0 6 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤（2, 3, 5, 6 - テトラクロロ - 4 - [メチルスルホニル]ピリジン）が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4117 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤（2, 3, 5, 6 - テトラクロロ - 4 - [メチルスルホニル]ピリジン）が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4118 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット 不明 コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤（2, 3, 5, 6 - テトラクロロ - 4 - [メチルスルホニル]ピリジン）が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4119 2000/00/00 (事故発生地) 千葉県	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4120 2004/06/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 1 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4121 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4122 2007/09/00 (事故発生地) 山口県	デスクマット マ - 5 6 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4123 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4124 0000/00/00 (事故発生地) 石川県	デスクマット マ - 4 6 8 NM コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4125 2006/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 5 1 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4126 0000/00/00 (事故発生地) 岡山県	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4127 0000/00/00 (事故発生地) 福井県	デスクマット マ - 4 0 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4128 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	デスクマット マ - 4 0 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4129 0000/00/00 (事故発生地) 兵庫県	デスクマット マ - 5 2 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4130 2005/00/00 (事故発生地) 京都府	デスクマット マ - 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 2 年	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-4131 0000/00/00 (事故発生地) 滋賀県	デスクマット マ - 4 1 5 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4132 2007/03/00 (事故発生地) 北海道	デスクマット マ - M X 5 4 7 N コクヨ S & T (株) 使用期間：約 1 か月	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4133 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	デスクマット マ - 4 1 6 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4134 0000/00/00 (事故発生地) 青森県	デスクマット マ - 4 1 2 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、 マットとの接触部分に皮膚炎を発症 した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4135 0000/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2007-4136 0000/00/00 (事故発生地) 大分県	デスクマット マ - 4 2 7 N M コクヨ S & T (株) 使用期間：不 明	デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。 (軽傷)	当該デスクマットには皮膚感受性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 (A1)	新聞に平成18年10月11日から平成19年5月29日の間に計8回及びホームページに社告を掲載するとともに、販売店経由でユーザーに案内を行い、注意喚起、製品の回収及び交換を実施している。なお、当機構は平成18年12月13日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2007/10/29)
2006-1936 2006/10/18 (事故発生地) 群馬県	ねずみ捕獲器 不明 不明 使用期間：不 明	ねずみ捕獲器をセットしようとしたところ、右手人差し指を打撲した。 (軽傷)	取扱説明書がなかったことから、被害者が安全フックを使用しないまま餌のセットを行ったため、バネがはじけ指を強打したものと推定される。 (A4)	製造業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2006/11/13)
2007-2086 2007/04/00 (事故発生地) 大阪府	バッテリー(P H S 端 末用) N B B - 9 3 2 0 N E C トーキョー(株) 使用期間：不 明	P H S 端末用のリチウムイオンバッテリーの電池パックが発熱し、膨張した。 (製品破損)	当該品の製造過程において、絶縁部に傾きが生じたことから、電極と端子を接続する部品と電池缶壁との隙間が狭くなり、さらに当該部に外部から強い衝撃が加わったことが複合して絶縁不良となり、短絡、発熱し膨張したものと推定される。 (A2)	平成19年6月13日付のホームページに社告を掲載するとともに、ユーザーにダイレクトメールを送付し、製品交換を行っている。なお、電池内部の構造変更を行い、エックス線による全数検査を行うこととした。	製造事業者 (受付:2007/07/02)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2087 2007/04/00 (事故発生地) 東京都	バッテリー（PHS端 未用） NBB-9310 NECトーキン（株） 使用期間：不明	PHS末端用のリチウムイオンバッ テリーの電池パックが発熱、膨張し、 電池カバーが変形した。 (製品破損)	当該品の製造過程において、絶縁部に傾きが生じ たことから、電極と端子を接続する部品と電池缶壁と の隙間が狭くなり、さらに当該部に外部から強い衝撃 が加わったことが複合して絶縁不良となり、短絡、発 熱し膨張したものと推定される。 (A2)	平成19年6月13日付のホームページに社告 を掲載するとともに、ユーザーにダイレクトメー ルを送付し、製品交換を行っている。なお、電 池内部の構造変更を行い、エックス線による全数 検査を行うこととした。	製造事業者 (受付:2007/07/02)
2007-2088 2007/04/00 (事故発生地) 不明	バッテリー（PHS端 未用） NBB-9320 NECトーキン（株） 使用期間：不明	PHS末端用のリチウムイオンバッ テリーの電池パックが使用中に発熱し た。 (製品破損)	当該品の製造過程において、絶縁部に傾きが生じ たことから、電極と端子を接続する部品と電池缶壁と の隙間が狭くなり、さらに当該部に外部から強い衝撃 が加わったことが複合して絶縁不良となり、短絡、発 熱し膨張したものと推定される。 (A2)	平成19年6月13日付のホームページに社告 を掲載するとともに、ユーザーにダイレクトメー ルを送付し、製品交換を行っている。なお、電 池内部の構造変更を行い、エックス線による全数 検査を行うこととした。	製造事業者 (受付:2007/07/02)
2007-2089 2007/06/00 (事故発生地) 北海道	バッテリー（PHS端 未用） NBB-9320 NECトーキン（株） 使用期間：不明	PHS末端用のリチウムイオンバッ テリーの電池パックが発熱、膨張し、 電池カバーが変形した。 (製品破損)	当該品の製造過程において、絶縁部に傾きが生じ たことから、電極と端子を接続する部品と電池缶壁と の隙間が狭くなり、さらに当該部に外部から強い衝撃 が加わったことが複合して絶縁不良となり、短絡、発 熱し膨張したものと推定される。 (A2)	平成19年6月13日付のホームページに社告 を掲載するとともに、ユーザーにダイレクトメー ルを送付し、製品交換を行っている。なお、電 池内部の構造変更を行い、エックス線による全数 検査を行うこととした。	製造事業者 (受付:2007/07/02)
2007-2090 2007/06/00 (事故発生地) 福岡県	バッテリー（PHS端 未用） NBB-9320 NECトーキン（株） 使用期間：不明	充電中のPHS末端用のリチウムイ オンバッテリーの電池パックが発熱し た。 (製品破損)	当該品の製造過程において、絶縁部に傾きが生じ たことから、電極と端子を接続する部品と電池缶壁と の隙間が狭くなり、さらに当該部に外部から強い衝撃 が加わったことが複合して絶縁不良となり、短絡、発 熱し膨張したものと推定される。 (A2)	平成19年6月13日付のホームページに社告 を掲載するとともに、ユーザーにダイレクトメー ルを送付し、製品交換を行っている。なお、電 池内部の構造変更を行い、エックス線による全数 検査を行うこととした。	製造事業者 (受付:2007/07/02)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1283 2006/07/25 (事故発生地) 東京都	バッテリー（リチウム ポリマー電池、ラジコ ン用） 使用期間：約2か月	リモコンに使用するバッテリーが充 電開始約40分経過後に発火し、火災 に至り、男性が軽傷を負った。 (軽傷)	バッテリーは3セルの組電池であり、そのうちの1 セルが回収されたものの、発火したと思われるセルが 回収されず、また、同等品について過充電試験を行っ たが異常は確認されなかったため、原因の特定はでき なかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかつ た。 なお、取扱説明書の内容を検討し、バッテリー （リチウムポリマー電池）の充電方法及びバッテ リーの危険性について、従来よりも分かり易い表 示の改善を行った。	消費者センター 国の行政機関 (受付:2006/09/13)
2006-2313 2006/11/16 (事故発生地) 大阪府	バッテリー（携帯電話 用） FOMA D902i用電 池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約1年	携帯電話を充電後、1時間もしな いうちに、本体から煙が噴出して電池が 破裂し、鞆や床が焦げた。 (拡大被害)	製造工程で、製造治具がリチウムイオンバッテリー の負極板と接触し変形させたため、正極板との間にあ る絶縁シートが損傷。さらに、充電による膨張及び 電池ケースに対する外力の印加により絶縁シートが破 れ、負極板と電池ケースが短絡して異常発熱し、破裂 に至ったものと推定される。 (A2)	携帯電話会社とともに平成18年12月8日付 けの新聞及びホームページに社告を掲載し、良品 との交換を行っている。また、極板・絶縁シ ートを巻く装置を改善し、電池ケースと電池端部 との間に絶縁用サイド保護テープを巻くよう変更し ている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2318 2006/12/01 (事故発生地) 兵庫県	バッテリー（携帯電話 用） FOMA D902i用電 池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約10か月	充電器に接続せずに携帯電話を置い ていたところ、突然膨張して電池が飛 び出し、燃えた電池によりふとんカバ ーが焦げた。 (拡大被害)	製造工程で、製造器具がリチウムイオンバッテリー の負極板と接触し変形させたため、正極板との間にあ る絶縁シートが損傷し、さらに充電による膨張及び 電池ケースに外力が加わり変形し、絶縁シートが破れ 、負極板と電池ケースが接触し内部短絡が起こったた め異常発熱が発生し、電解液等が急激に膨張し、破裂 に至ったものと推定される。 (A2)	携帯電話会社とともに平成18年12月8日付 けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象 製品の交換を行っている。また、極板・絶縁シ ートを巻く装置を改善し、電池ケースと電池端部 との間に絶縁用サイド保護テープを巻くよう変更 している。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-4077 2007/01/13 (事故発生地) 京都府	バッテリー（携帯電話 用） FOMA D902i用電 池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約8か月	カウンターに置いていた携帯電話が 突然破裂し、電池パックが飛んで、リ アカバーが溶けた。 (拡大被害)	製造工程で、製造器具がリチウムイオンバッテリー の負極板と接触し変形させたため、正極板との間にあ る絶縁シートが損傷し、さらに充電による膨張及び 電池ケースに外力が加わり変形し、絶縁シートが破れ 、負極板と電池ケースが接触し内部短絡が起こったた め異常発熱が発生し、電解液等が急激に膨張し、破裂 に至ったものと推定される。 (A2)	携帯電話会社とともに平成18年12月8日付 けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象 製品の交換を行っている。また、極板・絶縁シ ートを巻く装置を改善し、電池ケースと電池端部 との間に絶縁用サイド保護テープを巻くよう変更 している。	製造事業者 (受付:2007/03/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2006-4079 2007/02/21 (事故発生地) 東京都	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約1年	胸ポケットに携帯電話機を入れていたところ、突然電池パックが破裂し、スーツに穴があき、胸がヒリヒリするようになった。 (拡大被害)	製造工程で、製造治具がリチウムイオンバッテリーの負極板と接触し変形させたため、正極板との間にある絶縁シートが損傷。さらに、充放電による膨張及び電池ケースに対する外力の印加により絶縁シートが破れ、負極板と電池ケースが短絡して異常発熱し、破裂に至ったものと推定される。 (A2)	携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、良品との交換を行っている。また、極板・絶縁シートを巻く装置を改善し、電池ケースと電池端子との間に絶縁用サイド保護テープを巻くよう変更している。	製造事業者 (受付:2007/03/29)
2007-3020 2007/08/16 (事故発生地) 岡山県	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902iS用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約1年	携帯電話を充電終了後、ACアダプターに差し込んだままふとんの上に置いて就寝したところ、異臭がして発煙し、電池が外れて、ベッドマットが焦がれていた。 (拡大被害)	製造工程で、製造器具がリチウムイオンバッテリーの負極板と接触し変形させたため、正極板との間にある絶縁シートが損傷し、さらに充放電による膨張及び電池ケースに外力が加わり変形し、絶縁シートが破れ、負極板と電池ケースが接触し内部短絡が起こったため、異常発熱が発生し、電池パックが膨張するとともに、ガス排出機構が動作したものと推定される。 (A2)	携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。また、極板・絶縁シートを巻く装置を改善するとともに、電池ケースと極板端子との間に絶縁用サイド保護テープを巻くよう変更している。	製造事業者 (受付:2007/08/27)
2006-3252 2006/12/19 (事故発生地) 滋賀県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年	携帯電話をガス温風ヒーターのそばに置いていたところ発火し、カーペットと衣服に着火して腰に軽い火傷を負った。 (軽傷)	被害者が、携帯電話を温風ヒーターの吹出口付近に置いたまま放置したため、吹き出した温風により、リチウムイオンバッテリーが加熱され、熱暴走し、破裂・焼損したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、取扱説明書には「火のそばやストーブのそば、高温の場所での使用、放置などが原因で機器の変形、故障、電池パックの漏洩、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。」の旨を記載し、注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2007/02/07)
2006-3253 2006/12/26 (事故発生地) 茨城県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約9か月	携帯電話をバイクのシート下の荷物入れに入れておいたところ、一緒に入れていた上着が焦げた。 (拡大被害)	バッテリーパックのリチウムイオンバッテリーが変形し焦げており、セル缶に外的応力による凹みが複数認められたことから、被害者の使用中に外的応力がバッテリーに加えられたため、熱暴走を生じて異常発熱したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、取扱説明書には「携帯電話に無理な力が掛かるような場所に置かない。」「多くの物がつまった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となる。」旨を記載している。	販売事業者 (受付:2007/02/07)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-3773 2007/09/30 (事故発生地) 福岡県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年6か月	携帯電話機が足に当たり蹴ったところ、電池パックが外れ、そのまま放置していたら、部屋に煙が充満し、じゅうたんが焦げた。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーのセル缶に、外的応力による凹みや内部電極に達する穴開きが複数確認され、穴開き箇所電極板に短絡痕が認められることから、飼っていた犬が放置していたバッテリーを噛む等により、バッテリーに外部応力が加えられたため、バッテリーが内部短絡を生じて熱暴走となり、異常発熱し破裂したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、取扱説明書には「強い衝撃を与えたり、投げない。釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない」旨を記載している。	製造事業者 (受付:2007/10/15)
2006-0638 2006/03/20 (事故発生地) 宮城県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年	携帯電話機を充電中に、爆発し、1人が軽い火傷を負った。 (軽傷)	事故時、携帯電話は石油ファンヒーターの近傍に充電状態で置かれていたことから、寿命状態で膨らんでいた電池が石油ファンヒーターの温風により加熱され破裂したか、電池内部で短絡を生じて、発火したものと考えられるものの、再現試験ではバッテリーの破裂は再現せず、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2006/06/15)
2006-1337 2006/09/14 (事故発生地) 鹿児島県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年5か月	携帯電話を充電中、30分程経った頃、室内に焦げたにおいがし、充電電池が変形していた。 (軽傷)	本体外観において側面の口開きがあったが、内部に異臭の原因となる焦げ等の異常は確認できなかった。また電池パックの外観において長期使用によるものと考えられる膨れが確認されたが、出力電圧、サーミスタ抵抗は正常であり、異臭の確認もできなかったため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2006/09/15)
2006-2281 2006/07/13 (事故発生地) 愛知県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：不明	7ヶ月位使用しなかった予備の携帯電話用電池パックに充電し、他の電池と一緒にデジカメ用の袋に入れていた。電池パックが少し温かいので机の上に置いたところ、電池パックが熱を持って膨らみ、しばらくして破裂し、約3m先に飛んでカーペットなどを焼損した。 (拡大被害)	電池パックは、外装ラベルが剥がれており、外装に凹みが認められることから、外装ラベルの剥がれによる電極の短絡又は外的応力による内部電極の短絡で、電池パック内部が発熱し、内圧が上昇し破裂に至ったものと推定されるが、使用状況等が不明であることから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、取扱説明書には「釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になる」旨を記載している。	国の行政機関 (受付:2006/12/08)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2294 2006/11/24 (事故発生地) 大阪府	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約1年	携帯電話を充電中、充電電池が破裂し、女性が足に軽い火傷を負った。 (軽傷)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し、電解液等が急激に膨張し破裂に至ったものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製品評価技術基盤機構 (受付:2006/12/08)
2006-2314 2006/11/16 (事故発生地) 東京都	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約1年	夜間、携帯電話を充電中に電池が破裂したと思われる、電池パックとリアカバーが床に落ち、端末が煤だらけになっていた。 (製品破損)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し、電解液等が急激に膨張し破裂に至ったものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2315 2006/11/19 (事故発生地) 岡山県	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約8か月	携帯電話を充電しながら、使用中に電源が切れ、本体が熱くなっていたため、充電器から外し、電池を抜いてクッションの上に置いたところ、「パン」と破裂音がして発煙し、電池から茶色い液が漏れた。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し電池パックが膨張するとともに、ガス排出機構が動作したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2316 2006/11/22 (事故発生地) 埼玉県	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約8か月	携帯電話を充電中、熱くなって煙が出てきたのでふとんの上に置いたところ、破裂した。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し電池パックが膨張するとともに、ガス排出機構が動作したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2006-2317 2006/11/23 (事故発生地) 静岡県	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約11か月	携帯電話を充電中、電池が破裂して炎が上がり、カーペットが焦げて穴が開いた。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し、電解液等が急激に膨張し破裂に至ったものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2320 2006/08/11 (事故発生地) 東京都	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約2か月	携帯電話の電源を入れたままACアダプター直結で充電中に電源が切れ、リアカバー付近が触られないほど発熱していたため、ACアダプターを外し、リアカバーをスライドさせたところ、電池が破裂したように飛び出した。 (製品破損)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し、電解液等が急激に膨張し破裂に至ったものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2321 2006/08/21 (事故発生地) 栃木県	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約10か月	携帯電話を充電中、「シュシュ」という音がして電池が発熱し、膨張して飛び出し、破片がじゅうたんに付着して一部を焼損させた。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し電池パックが膨張するとともに、ガス排出機構が動作したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2322 2006/08/29 (事故発生地) 千葉県	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約9か月	胸ポケットに入れていた携帯電話から発熱を感じ、取り出した時に異常に熱くて落ちてしまい、衝撃で電池が本体から外れ発煙し、破裂した。 (製品破損)	リチウムイオンバッテリーの電池パックに外部から突き刺したような変形が認められることから、その外力によりセル内部短絡が生じて異常発熱が発生し、電解液等が急激に膨張し破裂に至ったものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2323 2006/09/11 (事故発生地) 沖縄県	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約5か月	携帯電話を充電中、異常に熱くなり、「シュー」という音とともに焦げ臭いにおいがしたので床に置いたところ、破裂した。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し、電解液等が急激に膨張し破裂に至ったものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2325 2006/10/28 (事故発生地) 北海道	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約10か月	携帯電話を充電してそのまま置いていたら、突然煙が出て破裂し、電池が飛び出してふとんが焦げた。 (軽傷)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し電池パックが膨張するとともに、ガス排出機構が動作したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2326 2006/11/04 (事故発生地) 北海道	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約11か月	携帯電話を充電中、リアケースから発煙して破裂し、電池が飛んでじゅうたんが焦げた。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し電池パックが膨張するとともに、ガス排出機構が動作したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2327 2006/11/04 (事故発生地) 大阪府	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約10か月	携帯電話で通話中に電源が落ちたのでこたつの上に置いたところ、「ブツブツ」という音がして煙が出て、その後電池が飛び出し、ふとんと畳が焦げた。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し電池パックが膨張するとともに、ガス排出機構が動作したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2006-2328 2006/11/11 (事故発生地) 神奈川県	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約11か月	携帯電話を充電中、本体と電池付近から煙が出た。なお、発生時、雷がなっており、別コンセントに差し込んでいた掃除機から「ボン」という異音が生じ、電源が入らなくなった。	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し電池パックが膨張するとともに、ガス排出機構が動作したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-2329 2006/11/18 (事故発生地) 宮崎県	バッテリー（携帯電話用） FOMA D902i用電池パックD06 三菱電機（株） 使用期間：約10か月	携帯電話を充電中、破裂音が生じ、電池が飛び出してデスクシートが焦げた。	リチウムイオンバッテリーの電池パックにへこみが認められることから、外力により電池パックが変形したため、内部の極板・絶縁シートが損傷し、その後の使用による充放電の繰り返しで極板が膨れ、セル内部短絡が生じて異常発熱が発生し電池パックが膨張するとともに、ガス排出機構が動作したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2006/12/12)
2006-3182 2007/01/13 (事故発生地) 大阪府	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年6か月	携帯電話を使用中に、バッテリーが熱くなった。	機器診断（充電テスト、30分連続通話テスト、目視検査）の結果、異常な温度上昇につながるような異常はみられず、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2007/02/02)
2006-3248 2005/06/08 (事故発生地) 神奈川県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年	携帯電話機をワイシャツの胸ポケットに入れていたところ、脇腹あたりが熱くなり、火傷のようになっていた。	携帯電話及びリチウムイオンバッテリーに発熱や熱変形等の異常は認められず、機能、性能も正常であったことから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	販売事業者 (受付:2007/02/07)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2006-3249 2005/10/16 (事故発生地) 東京都	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約8か月	携帯電話でテレビ電話機能を使用中、本体の電池パック部分が発熱し、指を火傷した。 (軽傷)	携帯電話及びリチウムイオンバッテリーに発熱の痕跡は認められず、機能、性能も正常であったことから、火傷に至った原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	販売事業者 (受付:2007/02/07)
2006-3250 2006/07/04 (事故発生地) 神奈川県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約2か月	携帯電話を充電中、電池部分が熱くなったので取り出したところ、指に火傷を負った。 (軽傷)	携帯電話及びリチウムイオンバッテリーに発熱等の痕跡は認められず、機能、性能も正常であったことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	販売事業者 (受付:2007/02/07)
2006-3754 2007/01/26 (事故発生地) 福岡県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約10か月	携帯電話の電池をポケットに入れていたところ、大きな破裂音がして発煙し、服が焦げた。 (拡大被害)	電池パックに外的応力による凹みと内部に短絡痕が認められたことから、被害者の使用中に外的応力がバッテリーに加えられたため、熱暴走を生じて異常発熱したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、取扱説明書には「強い衝撃を与えたり、投げたりしない、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になる」旨を記載している。	製造事業者 (受付:2007/03/09)
2006-4073 2007/02/09 (事故発生地) 新潟県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年11か月	携帯電話を充電していたところ、大きな音とともに電池とリアカバーが飛び出し、電池パックが燃えた。 (製品破損)	バッテリーパックのセル缶に外的応力による凹みが認められたことから、被害者の使用中に何らかの外的応力がバッテリーに加えられたため、熱暴走を生じて異常発熱したものと推定されるが、使用状況等が不明であることから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、取扱説明書には「釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になる」旨を記載している。	販売事業者 (受付:2007/03/29)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2006-4074 2007/02/12 (事故発生地) 三重県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年5か月	車を運転中、作業ズボンの左ポケットに入れていた携帯電話が「シュー」という音とともに発火し、ズボンと助手席シートの一部が焦げた。	電池のふたとセル缶に穴あきが認められたことから、被害者の使用中に何らかの鋭利な物が突き刺さったために内部短絡が発生し、熱暴走を生じて、異常発熱したものと推定されるが、使用状況等が不明であることから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、取扱説明書には「釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になる」旨を記載している。	販売事業者 (受付:2007/03/29)
2006-4075 2007/02/05 (事故発生地) 東京都	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年7か月	充電中に携帯電話本体が発熱しているように感じていたところ、異音が生じて発煙、発火した。	リチウムイオンバッテリーパックのセル缶に外的応力による凹みが認められたことから、被害者の使用中に何らかの外的応力がバッテリーに加えられたため、熱暴走を生じて異常発熱したものと推定されるが、使用状況等が不明であることから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、取扱説明書には「釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になる」旨を記載している。	販売事業者 (受付:2007/03/29)
2006-4078 2007/01/16 (事故発生地) 千葉県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約11か月	携帯電話を充電中、コードを引っ掛けて落下し、リアカバーが外れて異音が生じ、高温になって発煙した。	電池パックの樹脂ケースに熱変形、焦げが見られるが、樹脂ケース内側（セルケース側）及びセルケースには発熱痕跡が見られない。セルケースに穴あきが見られることから、外力により電池パックに穴があき、その後、外部からの加熱により、電池パックの樹脂に熱変形が発生し、電池パックが膨れたものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。	当該品は、携帯電話会社とともに平成18年12月8日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、対象製品の交換を行っている。	製造事業者 (受付:2007/03/29)
2007-0990 2007/04/30 (事故発生地) 鹿児島県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年	携帯電話の充電を完了後、電池を本体から外して床に置き、その上に上着を置いていたところ、電池が破裂して上着に穴が空き、床も焦げた。	電池パックに外的応力による凹みと内部に短絡痕が認められたことから、被害者の使用中に外的応力がバッテリーに加えられたため、熱暴走を生じて異常発熱したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、取扱説明書には「強い衝撃を与えたり、投げたりしない、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になる」旨を記載している。	製造事業者 (受付:2007/05/25)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-0991 2007/05/10 (事故発生地) 岡山県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：不明	敷きぶとんの上で、携帯電話をACアダプターで充電していたところ、発煙し、周囲を焼損した。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーパックが熱変形し破裂しているものの、内部電極に短絡痕等が認められず、外部熱源を近接させた場合の再現試験では、破裂が再現したことから、被害者の使用中に外部熱源の近接または、接触によりバッテリーが加熱され、破裂したものと推定されるが、使用状況が不明であることから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、取扱説明書には「火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所での使用、放置はしないでください。機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。」旨を記載し注意喚起している。	製造事業者 (受付:2007/05/25)
2007-1568 2007/05/09 (事故発生地) 兵庫県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約11か月	充電が完了し、携帯電話機から取り外して置いてあった電池パックが、「パーン」という音とともに発煙、発火し、カーペット、カーテン、マットレスの一部を焼損した。 (拡大被害)	リチウムイオンバッテリーのセル缶に、外的応力による凹みが複数確認され、電極板に短絡痕が認められることから、被害者の使用中、バッテリーに外部応力が加えられたため、バッテリーが内部短絡を生じて熱暴走となり、異常発熱し破裂したものと推定されるが、使用状況等が不明であるため、外部圧力が加わった原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2007/06/12)
2007-2954 2007/08/06 (事故発生地) 大分県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約8か月	充電中の携帯電話の周りが焦げ、左肘下部に火傷を負い、ベッドの敷きぶとんとマットレスを焼損した。 (拡大被害)	当該機の外郭樹脂に焦げ、炭化がみられるものの、基板は焼損しておらず、バッテリー内部にも短絡痕が認められないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2007/08/23)
2007-2967 2007/07/00 (事故発生地) 福岡県	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：不明	携帯電話を使用していたら、バッテリー部分が発熱し変形（膨張）した。 (被害なし)	電池パックは漏液や充放電時の異常温度上昇はなく、分解したところ内部に短絡痕などの異常も認められないことから、電池パックの寿命により酸化化合物が負極板表面に堆積し、負極板の厚さが厚くなったために電池パックが膨張したものと推定されるが、発熱した原因の特定はできなかった。 (G1)	発熱に関する事故原因が不明であり、保護回路や安全弁が内蔵されていて拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/08/23)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-3739 2007/08/20 (事故発生地) 東京都	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約3年	携帯電話機で30分ほど電話をしていたところ、電池が過熱して、電話機が持てないほど熱くなり、顔がヒリヒリしてまぶたが開かなくなった。	事故品の基板に焼損等は認められず、バッテリーの容量がやや低下しているものの、液漏れや変形等はなく、通話時の各部の温度にも異状は認められないことから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2007/10/11)
2007-3790 2007/09/03 (事故発生地) 東京都	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：約1年10か月	携帯電話機を電源オフの状態テーブルの上に置いていたところ、突然、バッテリーパックが携帯電話機が曲がるくらい膨張した。	電池パックケースが膨張し亀裂が発生していることから、内圧上昇あるいは、電極堆積物などにより膨張したと考えられるが、安全弁は作動しておらず、電極はパック外装と隙間があり短絡などの痕跡も認められないことから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者 (受付:2007/10/16)
2007-5008 2007/11/03 (事故発生地) 北海道	バッテリー（携帯電話用） 使用期間：不明	充電中の携帯電話が爆発音とともに膨張し、発煙した。	携帯電話機の裏面に熱変形がみられるが、回路部品等に発熱に伴う焼損箇所は認められず、また、電池パックにも内部短絡跡が認められないことから外部からの熱により電池パックが膨張し、発煙した可能性も考えられるが、使用状況が不明なため、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2007/12/20)
2007-4523 2007/11/22 (事故発生地) 神奈川県	ハンガー すべり落ちないハンガー (株)総通 使用期間：1回	台の上に横に置かれたハンガーを掴んだところ、右手人差し指を1cmほど切った。	ハンガーの内側に2カ所、固く鋭利な突起があったが、これに気が付かず掴んだため、この突起で指を切ったものと思われる。当該突起は、通常製品にはなく、成形不良と推定される。	他に同種事故はなく、単品不良とみられる事故であることから、特に措置はとらなかった。 なお、製造工場に当該事実を伝え、出荷前検査の徹底を依頼し、今後、取扱説明書に使用前に製品に異状がないか確認する旨記載することとした。	消費者センター (受付:2007/11/26)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2149 2007/06/12 (事故発生地) 富山県	ボタン電池（アルカリ） 使用期間：約2か月	防犯ブザーの電池（アルカリボタン電池）がきれたため、テーブルに取り出して置いていたところ約1分後に破裂した。 (製品破損)	使用されていた4個のボタン電池の内、1個のみが破裂していることから、取り出して置いていた際、ショートしたことなどが考えられるが、事故発生時の詳細が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、以降入荷分からは、ボタン電池の破裂の危険性について「保管の際は電池同士が接触しないようにする。ショート爆発する恐れがある」旨の注意表示を追加することとした。	消費者センター (受付:2007/07/04)
2006-3864 2007/03/08 (事故発生地) 埼玉県	ボタン電池（アルカリ、懐中電灯用） 使用期間：不明	懐中電灯からボタン電池を取り出し、ポケットに入れていたら、4つのうち1つが破裂し、電池のふたが外れた。 (製品破損)	ボタン電池4個をポケットに入れたため、プラス極とマイナス極がショートし破裂したものと推定される。 。なお、取扱説明書には「電池の破棄や保存等はテーブル等で絶縁して下さい。」とイラスト付きで記載されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/03/15)
2007-1009 2007/05/24 (事故発生地) 東京都	ボタン電池（アルカリマンガン） LR44 不明 使用期間：未使用	ボタン電池から液が漏れ、「パン」という音がして、電池が破裂した。 (製品破損)	事故品は、小中学校に防犯ブザーの取り替え用として配布したもので、ボタン電池納入時に取扱説明書の添付及び取扱い上の説明がなく、電池を取り扱った担当者も電池の取扱に関する知識がなかったため、電池の仕分け時に一部の電池を接触させたため発熱し、破裂したものと推定される。 (B4)	配布した電池を回収した。電池が既に取り替えられた可能性もあるため、防犯ブザーも併せて回収した。 なお、納入事業者は教育関係専門の納入業者で、電池を取り扱ったのは今回が初めてであり、今後は電池を扱わないこととした。	市町村 (受付:2007/05/28)
2007-2896 2007/07/29 (事故発生地) 千葉県	ボタン電池（リチウム一次電池） 使用期間：約15日	子供部屋の机の引き出しに収納していたデジタルカメラを持ち上げたところ、大きい音がしてカメラの電池ボックスのふたが跳ね上がり、ボックス内が粉で汚れた。 (拡大被害)	被害者がデジタルカメラにボタン電池を装填する際、専用ホルダーを使用せずに直に電池をセットしたために、ボタン電池の位置がずれてメイン電源であるニッケル水素電池と接触し、ニッケル水素電池がボタン電池の外郭金属を介して短絡状態となったために、短絡電流によりボタン電池が発熱し、破裂に至ったものと推定される。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/08/17)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2095 0000/00/00 (事故発生地) 大阪府	ボタン電池（リチウム 一次電池） 使用期間：不 明	使用済みのボタン電池を樹脂製のか ごに入れて、台の上に置いていたとこ ろ、その付近から炎が出た。 (拡大被害)	被害者が使用済みの電池を絶縁処理せず、多数（約 80個）保管していたため、電池同士が電極間で短絡 して発煙・発火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	消防機関 (受付:2007/07/02)
2006-2881 2007/01/11 (事故発生地) 滋賀県	マット（電子レンジ加 熱式） 使用期間：約3回	電子レンジのタイマーを1分に設定 し、電子レンジ加熱式マットを温めて いたところ、マットの一部が燃えた。 なお、電子レンジの中に入れた際、 庫内の幅より商品の方が少し長かった 。 (製品破損)	マットは電子レンジのターンテーブルより大きいサ イズであったことから、加熱時にマットが電子レンジ の内壁に触れ、回転しない状態で加熱を継続させたた めマイクロ波が集中し、部分的に発熱して燃えたもの と推定される。 なお、ターンテーブルが正常に回転するようにマッ トを置いた場合、焦げなど異常は生じなかった。 (E2)	消費者の不注意とみられる事故であるが、より 安全に使用してもらうため、表示の追加等を検討 する。	消費者センター (受付:2007/01/19)
2006-3534 2006/12/12 (事故発生地) 愛知県	ゆたんぼ（プラスチッ ク製） 使用期間：約1年	ゆたんぼに湯を入れ、付属の袋及び 別に購入した袋で二重に包んで足下 に置き就寝したところ、ふくらはぎに低 温火傷を負った。 (重傷)	就寝前は接触していなかったものの、就寝中無意識 に接触してしまい、そのまま長時間接触したため、低 温火傷を負ったものと推定される。 なお、取扱説明書には低温火傷に関する注意事項が 適切に表示されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	財団法人製品安全 協会 (受付:2007/02/26)
2006-3761 2007/01/15 (事故発生地) 愛知県	ゆたんぼ（プラスチッ ク製） 使用期間：1回	ゆたんぼを足下に置き就寝したとこ ろ、左足に低温火傷を負った。 (軽傷)	就寝前は接触していなかったものの、就寝中に接触 してしまい、そのまま長時間接触したため、低温火傷 を負ったものと推定される。 なお、取扱説明書には低温火傷に関する注意事項が 適切に表示されている。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	財団法人製品安全 協会 (受付:2007/03/12)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2718 2007/01/03 (事故発生地) 北海道	ゆたんぼ(金属製) 使用期間：不明	アパートの一室で爆発があり、部屋の窓ガラスが割れた。 (拡大被害)	ゆたんぼのふたをしたままガスこんろにかけて寝込んでしまったため、水が沸騰して内圧が上昇し、ゆたんぼ本体の溶接部分が分離して、上側半分が吹き飛んだものと推定される。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/01/10)
2006-1458 0000/00/00 (事故発生地) 福岡県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、女性が顔の半分に火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超過して加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/09/28)
2006-1459 2002/11/19 (事故発生地) 北海道	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、女性が顔、首、手に火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超過して加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/09/28)
2006-1460 2002/11/28 (事故発生地) 福島県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で容器が破裂し、電子レンジを汚損した。 (拡大被害)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超過して加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/09/28)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1461 2003/02/23 (事故発生地) 神奈川県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティ ホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：約3回	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、6歳の女児が顔面、頸部、両手に火傷を負い、顎に痕が残った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/09/28)
2006-1462 2003/10/24 (事故発生地) 福岡県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティ ホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、10歳の女児が顔、右手、右足に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/09/28)
2006-1463 2003/11/12 (事故発生地) 福岡県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティ ホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、10歳の女児が顔、右手、右足に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/09/28)
2006-1464 2004/01/23 (事故発生地) 広島県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティ ホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、女性が顔、手、足に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/09/28)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1465 2004/11/15 (事故発生地) 山梨県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で容器が破裂し、電子レンジを汚損した。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/09/28)
2006-1466 2006/07/29 (事故発生地) 長野県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、女性が顔、首、腕に火傷を負い、首と腕は皮膚移植を行った。周囲にいた家人2人も腕や足に軽い火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/09/28)
2006-1589 2001/00/00 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：約2か月	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で容器が破裂し、電子レンジが壊れた。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/12)
2006-1590 2002/00/00 (事故発生地) 三重県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：約2か月	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で容器が破裂し、電子レンジが壊れた。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/12)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1591 2002/02/22 (事故発生地) 栃木県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、女兒が胸部、顎の下、右手に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/12)
2006-1592 2002/10/00 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出して台所の調理台の上に置いた際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、女性が右腕に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出して置いた際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/12)
2006-1593 2004/00/00 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：約2か月	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で容器が破裂し、電子レンジが壊れた。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/12)
2006-1594 2005/00/00 (事故発生地) 福岡県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：約2か月	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で容器が破裂し、電子レンジが壊れた。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/12)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2006-1650 2003/01/05 (事故発生地) 神奈川県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) ゆたぼん (株)白元 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで2分30秒加熱し、さらに1分追加加熱したところ、膨らんでいたののでレンジから取り出し、テーブルに置いた際に破裂し、顔や手に飛び散り、女性が火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間を超えて加熱または、ゆたんぼがレンジ庫内に引っ掛かり、ターンテーブルが回転せず部分的に集中加熱された等のため、テーブルに置いた際、樹脂フィルム製の袋が破裂し内容物が飛び散り、火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成19年10月販売分より、カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。 なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/20)
2006-1651 2005/11/00 (事故発生地) 埼玉県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) ゆたぼん(首肩用) (株)白元 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを500Wの電子レンジで2分間加熱したが、あまり温かくならなかったため、さらに1分加熱したところ、レンジ内で爆発した。レンジから取り出す際に、小指に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間を超えて加熱または、内容物が極端に偏った状態や折りたたんだ状態で部分的に集中加熱された等のため、樹脂フィルム製の袋が破損、内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成19年10月販売分より、カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。 なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/20)
2006-1652 2006/01/11 (事故発生地) 広島県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) ゆたぼん (株)白元 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを500Wの電子レンジで3分30秒加熱し、さらに30秒加熱したところ、レンジ内で破裂した。レンジから取り出す際に、8歳の男児が右手に2度、右足に1度の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間を超えて加熱または、内容物が極端に偏った状態や折りたたんだ状態で部分的に集中加熱された等のため、樹脂フィルム製の袋が破損、内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成19年10月販売分より、カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。 なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/20)
2006-1653 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) ゆたぼん(ぼくゆたぼん) (株)白元 使用期間：約5回	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱して使用したところ、ゲルが漏れて手に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間を超えて加熱または、内容物が極端に偏った状態や折りたたんだ状態で部分的に集中加熱された等のため、樹脂フィルム製の袋が破損、内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成19年10月販売分より、カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。 なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/20)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2006-1654 0000/00/00 (事故発生地) 宮城県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) ゆたぼん(首肩用) (株)白元 使用期間:不明	首肩用の電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱して使用したところ、ゲルが漏れていたため火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間を超過して加熱または、内容物が極端に偏った状態や折りたたんだ状態で部分的に集中加熱された等のため、樹脂フィルム製の袋が破損、内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成19年10月販売分より、カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。 なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/20)
2006-1655 0000/00/00 (事故発生地) 栃木県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) ゆたぼん (株)白元 使用期間:不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱し、温くならなかったのにさらに加熱したところ、レンジの扉を開けた際に破裂し、内容物が顔にかかり火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間を超過して加熱または、内容物が極端に偏った状態や折りたたんだ状態で部分的に集中加熱された等のため、扉を開けた際、樹脂フィルム製の袋が破裂し内容物が飛び散り、火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成19年10月販売分より、カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。 なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/20)
2006-1656 0000/00/00 (事故発生地) 不明	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) ゆたぼん(ゆたぼんL) (株)白元 使用期間:不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱し、追加加熱したところ、破損して火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間を超過して加熱または、内容物が極端に偏った状態や折りたたんだ状態で部分的に集中加熱された等のため、樹脂フィルム製の袋が破損、内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成19年10月販売分より、カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。 なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/20)
2006-1657 0000/00/00 (事故発生地) 愛知県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) ゆたぼん(首肩用) (株)白元 使用期間:約3回	首肩用の電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱して使用したところ、中のゲルがこぼれて手に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間を超過して加熱または、内容物が極端に偏った状態や折りたたんだ状態で部分的に集中加熱された等のため、樹脂フィルム製の袋が破損、内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成19年10月販売分より、カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。 なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/20)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1681 1996/02/09 (事故発生地) 不明	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) 夢暖 (株) A D E K A 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジでオート加熱したところ、取り出した際に蓄熱材が漏れ出て、女性1人が左手のひらに2度の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、本体容器(ポリメチルペンテン)の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケースにできた隙間からさらに漏れ、火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1682 1997/03/17 (事故発生地) 大阪府	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) あったまりーな 山甚物産(株) 使用期間：約3回	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で膨れた。取り出して運んだ際に破裂し、2人に蓄熱材がかかった。1人は肘に2度、もう1人は指に2度の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、取り出し運んだ際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1683 0000/00/00 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) 夢暖 (株) A D E K A 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出した際に液漏れに気づいた。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、本体容器(ポリメチルペンテン)の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケースにできた隙間からさらに漏れたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1684 0000/00/00 (事故発生地) 北海道	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) 夢暖 (株) A D E K A 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で液漏れした。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、本体容器(ポリメチルペンテン)の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケースにできた隙間からさらに漏れたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/23)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1685 1998/11/27 (事故発生地) 神奈川県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 安眠物語 （株）バイオスインコーポレーション 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、ゆたんぼの容器が変形した。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、カバーケース（ポリプロピレン）が変形したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1686 1998/11/27 (事故発生地) 山形県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） チビ暖くん ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを加熱したところ、ゆたんぼの容器が膨らんで変形した。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなり本体容器（ポリメチルペンテン）及びカバーケースが膨張し、変形したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1687 1998/12/04 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 安眠物語 （株）バイオスインコーポレーション 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、ゆたんぼの容器のネジが緩んだ。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器及びカバーケースが膨張したためネジが緩んだものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1688 1998/12/11 (事故発生地) 埼玉県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） あったまりーな 山甚物産（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを加熱電子レンジで加熱したところ、電子レンジの扉を開いた際に破裂し、蓄熱材が飛び散り、女性1人が顔面、首に火傷を負った。 (重傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、扉を開けた際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1689 1998/12/19 (事故発生地) 神奈川県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 安眠物語 （株）バイオスインコーポレーション 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、ゆたんぼの容器が変形した。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、カバーケース（ポリプロピレン）が変形したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1690 1998/12/19 (事故発生地) 香川県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 安眠物語 （株）バイオスインコーポレーション 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で膨れたのでしばらく放置した後、取り出した際に破裂し、蓄熱材が飛散し、家人1人が両手のひらに重傷の火傷、女兒1人が右耳に1度の火傷、他1人が軽いけがを負った。 (重傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1691 1999/01/04 (事故発生地) 宮城県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 安眠物語 （株）バイオスインコーポレーション 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、液漏れした。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケースにできた隙間からさらに漏れたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1692 1999/01/08 (事故発生地) 福岡県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 （株）A D E K A 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、蓄熱材が手前に飛び、女性1人が顔面、右手首などに火傷を負った。 (重傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/23)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1693 1999/01/14 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：約3年	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で破裂し、蓄熱材が飛び散り、女性1人が顔面、首、左手甲に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1694 1999/01/20 (事故発生地) 北海道	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 安眠物語 (株) バイオスインコーポレーション 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、液漏れした。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケースにできた隙間からさらに漏れたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1695 0000/00/00 (事故発生地) 千葉県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジ加熱したところ、液漏れし、女性1人が手に軽い火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケースにできた隙間からさらに漏れ、火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1696 1999/04/23 (事故発生地) 埼玉県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、膨らんだので扉を開け、覗き込んだ際に破裂し、蓄熱材が飛び、女性1人が顔面、腕に軽い火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、扉を開けた際、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/23)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1697 1999/12/05 (事故発生地) 福島県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) チビ暖くん ピップトウキョウ(株) 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出した際に破裂し、蓄熱材が飛び、女性1人が左手指2本、左脇腹、左胸に重傷の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1698 2001/01/14 (事故発生地) 滋賀県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) 夢暖 (株)A D E K A 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、破損し(破裂か、液漏れかは不明)、蓄熱材がかかり、女性1人が右手に2度の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1699 2001/01/16 (事故発生地) 山梨県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) 夢暖 (株)A D E K A 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、破損し(破裂か、液漏れかは不明)、蓄熱材がかかり、女性1人が左手に火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの、過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/23)
2006-1700 2001/03/08 (事故発生地) 神奈川県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) チビ暖くん ピップトウキョウ(株) 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、電子レンジの扉を開いた際に破裂し、蓄熱材が飛び、女性1人が顔面、首、手に重傷の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、扉を開けた際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/23)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1720 2001/03/12 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、寝室に持って行った際に破裂し、女性1人が両手に2度の火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、運んだ際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/24)
2006-1721 2001/12/30 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出した際に破裂し、蓄熱材が飛び、女性1人が喉、眉付近、両手首に火傷を負った。 (重傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/24)
2006-1722 2002/12/30 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出して寝室に運んだ際に破裂し、蓄熱材が飛び散り、家人1人が左手、足に2度の火傷、1人が顔面、右手に火傷を負い、男児1人が顔面、右手に1から2度の火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、運んだ際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/24)
2006-1723 2003/01/18 (事故発生地) 千葉県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出した際に破裂し、蓄熱材が台所一面に飛び、女性1人が顔部、両手に火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/24)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1724 2003/01/23 (事故発生地) 京都府	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、破裂し、女性1人が軽い火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/24)
2006-1725 2003/10/06 (事故発生地) 兵庫県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） あったまりーな 山甚物産（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで再加熱したところ膨らみ、取り出した際に破裂し、蓄熱材が台所一面に飛び、女性1人が左顔面、左手に重傷の火傷を負った。 (重傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/24)
2006-1726 2004/02/03 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で破裂し、電子レンジを損傷した。 (拡大被害)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/24)
2006-1727 2004/02/09 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出した際に右側面が破裂し、蓄熱材が居間に飛び、男性1人が右手甲、手のひらに2度、両まぶたに1度の火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/24)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1728 2004/10/23 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出して巾着袋に入れようとした際に破裂し、蓄熱材がかかり、女性1人が両手、肘、左足太腿に2度の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、袋に入れようとした際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/24)
2006-1729 2005/01/11 (事故発生地) 茨城県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） あったまりーな 山甚物産（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で破裂し、蓄熱材が台所に飛散し、電子レンジ、壁、家具を損傷した。掃除中に蓄熱材に接触し、女性1人が唇、指にアレルギー性皮膚炎を発症した。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。また、ポリエチレングリコールは皮膚感作性物質であることから、アレルギー性皮膚炎を発症したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/24)
2006-1730 2005/01/18 (事故発生地) 千葉県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出した際に破裂し、蓄熱材が手前に飛び、男児1人が顔全体に重傷の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/24)
2006-1731 2006/01/19 (事故発生地) 茨城県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出した際に破裂し、蓄熱材が前方向に飛び、電子レンジ、レンジ台、床を汚損した。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/10/24)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2006-1745 1996/12/00 (事故発生地) 山梨県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを1000Wの電子レンジで3分加熱したが、あまり温かくなかったので7分加熱したところ、カバーケースに穴が開いた。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱されたため、カバーケース（ポリプロピレン）に穴が開いたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)
2006-1746 1997/01/00 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで6分加熱し、約6時間使用したが、あまり温かくなかったので追加で6分加熱したところ、カバーケースが溶けた。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱されたため、カバーケース（ポリプロピレン）が溶けたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)
2006-1747 1997/01/00 (事故発生地) 不明	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱し過ぎたところ、ゆたんぼから液が出てこびりついた。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケース（ポリプロピレン）にできた隙間からさらに漏れたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)
2006-1748 1997/10/00 (事故発生地) 不明	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、周りに白い粉がつき、ところどころ溶けたようになった。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケース（ポリプロピレン）にできた隙間からさらに漏れたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1749 1997/10/00 (事故発生地) 埼玉県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、カバーケースのふたが外れた。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器が膨張してカバーケース（ポリプロピレン）のふたが外れたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)
2006-1750 1998/03/00 (事故発生地) 群馬県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、ゆたんぼが破裂した。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)
2006-1751 1999/01/00 (事故発生地) 埼玉県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、ゆたんぼの表側に亀裂が入った。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器及びカバーケース（ポリプロピレン）が膨張し、亀裂が入ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)
2006-1752 1999/01/00 (事故発生地) 群馬県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、本体上部が溶けた。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱されたため、本体容器（ポリメチルペンテン）が溶けたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2006-1753 2000/01/00 (事故発生地) 宮城県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：約1日	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、カバーケースのふたが開いた。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、カバーケース（ポリプロピレン）のふたが開いたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)
2006-1754 2000/02/00 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、ゆたんぼが変形した。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、カバーケース（ポリプロピレン）が変形したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)
2006-1755 2001/02/00 (事故発生地) 不明	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、液漏れした。 (製品破損)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケース（ポリプロピレン）にできた隙間からさらに漏れたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/10/25)
2006-1788 2003/12/08 (事故発生地) 不明	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） ホカロン湯たんぼコアラのマーチ ロッテ健康産業（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、外袋の通気孔より内容物が漏れ出した。これを処理していた際に女性が火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱されたことにより、樹脂フィルム製の内袋が破損、通気孔から内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。なお、当機構は平成19年2月6日付け「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/30)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2006-1789 2005/02/22 (事故発生地) 神奈川県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） ホカロン湯たんぼ ロッテ健康産業（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、外袋の通気孔から内容物が漏れ出した。これを処理していた際に女性が火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱されたことにより、樹脂フィルム製の内袋が破損、通気孔から内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/30)
2006-1790 2004/01/22 (事故発生地) 大阪府	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） ホカロン湯たんぼ ロッテ健康産業（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内でゆたんぼの袋が破裂し、内容物が飛散した。電子レンジから取り出そうとした際に内容物が右手に触れ、女性が火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱、又は油等が付着した部分が集中的に加熱されたことにより、樹脂フィルム製の袋が破損、内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/30)
2006-1791 2006/03/06 (事故発生地) 神奈川県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） ホカロン湯たんぼコアラのマーチ ロッテ健康産業（株） 使用期間：約2か月15日	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、専用カバーに入れようとした際に内容物が漏れ出て、女性が軽い火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱されたことにより、樹脂フィルム製の内袋が破損、内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/10/30)
2006-1934 2006/10/24 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） ゆたぼん（ぼくゆたぼん） （株）白元 使用期間：約1年	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱して使用したところ、ゲルが漏れて火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間を超えて加熱または、内容物が極端に偏った状態や折りたたんだ状態で部分的に集中加熱された等のため、樹脂フィルム製の袋が破損、内容物が流出し火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成19年10月販売分より、カイロ工業会の方針に基づいた注意表示に改善する予定である。なお、当機構は平成19年2月6日付の「特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。	販売事業者 (受付:2006/11/13)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1956 2005/12/30 (事故発生地) 静岡県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで所定の時間加熱したところ、自室まで運び巾着袋に入れようとした際に、蓄熱材が漏れ出して、女性1人が左手、右足に2度の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、本体容器（ポリメチルペンテン）の内部圧力が高くなり、本体容器の金型の突き合わせ部分から破損し、漏れた蓄熱材がカバーケースにできた隙間からさらに漏れ、火傷に至ったものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)
2006-1957 2006/10/03 (事故発生地) 栃木県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で破裂し、飛散した。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)
2006-1958 2005/12/00 (事故発生地) 熊本県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） あったまりーな 山甚物産（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを700Wの電子レンジで10分加熱したところ、取り出した際に破裂し、男性1人が右手、右肘、首に2度の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)
2006-1959 2006/10/04 (事故発生地) 千葉県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） あったまりーな 山甚物産（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で破裂し、飛散した。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1960 1994/00/00 (事故発生地) 埼玉県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで7分以上加熱したところ、破裂して飛散し、液漏れで畳を汚損した。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)
2006-1961 2006/09/26 (事故発生地) 静岡県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジで湯たんぼ ピップトウキョウ（株） 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを600Wの電子レンジでオート加熱したところ、取り出した際に破裂して飛散し、女性1人が右手と右肘に2度の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)
2006-1962 2002/01/05 (事故発生地) 奈良県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、運んだ際に液漏れし、女性1人が軽い火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、運んだ際に液漏れしたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)
2006-1963 2006/10/10 (事故発生地) 群馬県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） 夢暖 (株) ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、破裂し、飛散した。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1964 2001/12/00 (事故発生地) 埼玉県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) 夢暖 (株)バイオスインコーポレーション 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、袋に入れた際に破損して液漏れし、女性1人が手の甲に火傷を負った。 (軽傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、袋に入れた際に破損したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)
2006-1965 2005/00/00 (事故発生地) 埼玉県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) 夢暖 (株)ADEKA 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを600Wの電子レンジで5分加熱して3分程再加熱したところ、運ぶ際に熱くなって落とし、破損して液漏れし、ソファーを汚損した。 (拡大被害)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、落とし際に破損・液漏れしたものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2006/11/15)
2006-2268 2006/12/06 (事故発生地) 岐阜県	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、女性が上半身に1から2度の火傷を負い、女児が右手、左手、顔面に1度の火傷を負った。 (重傷)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2006/12/07)
2006-2773 0000/00/00 (事故発生地) 不明	ゆたんぼ(電子レンジ加熱式) レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、庫内で容器が破裂し、電子レンジを汚損した。 (拡大被害)	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材(ポリエチレングリコール)が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器(ポリメチルペンテン)に亀裂が発生し、破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。 (B4)	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2007/01/12)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 日
2006-3080 2007/01/19 (事故発生地) 神奈川県	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） レンジでチン ハローキティホットホットフレンド (株)タカラトミー 使用期間：不明	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出す際に破裂し、内部の蓄熱材が飛散し、女兒が顔と首に2度の火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出す際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	当該品の販売を中止し、平成12年4月17日、11月27日、平成18年10月3日付の新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、玩具販売店での店頭告知やチラシ配布で製品の回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	販売事業者 (受付:2007/01/30)
2006-3243 2007/01/06 (事故発生地) 東京都	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式） チビ暖くん ピップトウキョウ（株） 使用期間：約9年	電子レンジ加熱式ゆたんぼを電子レンジで加熱したところ、取り出した際に破裂し、蓄熱材が飛散し、女性2人が火傷を負った。	表示に示された加熱方法では異常が見られないことから、規定時間等を超えて加熱したことにより、蓄熱材（ポリエチレングリコール）が過剰に加熱され、内部圧力が高くなるとともに、本体容器（ポリメチルペンテン）に亀裂が発生し、取り出した際に破裂・飛散したものと推定される。 なお、表示には加熱方法について記載されているものの過剰加熱・再加熱における危険性等の注意表示が十分ではなかった。	平成11年9月、11月、平成18年10月3日付け新聞、平成15年11月、12月にホームページ及び雑誌、平成17年3月、平成18年1月に新聞折り込み広告に社告を掲載し、回収を行っている。なお、当機構は平成19年2月6日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行っている。	製造事業者 (受付:2007/02/06)
2006-2468 2006/01/00 (事故発生地) 長野県	ゆたんぼカバー 使用期間：約1か月	ゆたんぼを専用のカバーに入れて使用していたところ、足に火傷を負った。	長時間にわたり身体に密着して使用したことにより低温火傷を負ったものと考えられるが、使用状況の詳細が不明のため、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	都道府県 (受付:2006/12/20)
2007-2990 2007/07/14 (事故発生地) 大阪府	レインウェア 使用期間：1回	台風時にレインウェアを着用し作業をしていたところ、レインウェアから滴り落ちた雨が目に入り、目が充血し体がだるくなった。	雨が目に入ったこと、当該製品には若干においがあつたことから不快に感じたことなどが考えられるが、目の充血や体調不良となった原因は特定できなかった。 なお、当該製品はポリ塩化ビニル製であり、可塑剤としてフタル酸ビス（2-エチルヘキシル）が使用されていた。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	市町村 (受付:2007/08/24)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2121 2007/06/00 (事故発生地) 福井県	レジ袋 使用期間：約1日1回	量販店で購入した商品をレジ袋に入れてもらったところ、袋において頭痛がし気分が悪くなり、1～2時間寝込んだ。 (軽傷)	試験の結果、レジ袋(ポリエチレン製)から、ドデカン、テトラデカン、ヘキサデカン、BHT(酸化防止剤)の4物質の放散が確認されたことから、これら放散物質によって体調不良となった可能性が高いと考えられるが、4物質とも、その使用環境における濃度を想定した場合、必ずしも高い濃度ではなかった。 (F2)	個人の感受性による事故であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2007/07/03)
2006-3079 2007/01/27 (事故発生地) 石川県	ろうそく(芳香用) 使用期間：不明	木造2階建て住宅から出火して、約125平方メートルを全焼した。 (拡大被害)	被害者が浴室のキャビネットに直に置いたろうそくを消し忘れたため、ろうそくの火がキャビネットに燃え移り、出火したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/01/30)
2007-0586 2007/05/01 (事故発生地) 神奈川県	ろうそく(芳香用) 使用期間：不明	木造2階建て住宅から出火して、約40平方メートルを焼き、家人2人が煙を吸い込み軽傷を負った。 (軽傷)	芳香用ろうそくをつけて火を消し忘れたため、寝具に燃え移り出火したものと推定される。 (E2)	使用者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/05/11)
2006-3663 2007/02/16 (事故発生地) 愛知県	ろうそく(芳香用) 使用期間：約5日3回	2つの同じ茶香炉を、玄関の下駄箱に敷いたマットの上と居間の木製の机の上で各々3回使用したところ、マットと机が焦げた。 (拡大被害)	当該品は陶器製で中にろうそくを置いて使用するもので、事故品はいずれもふたの内側に多量のすすが付着していた。また、机等に焦げ跡が認められることから、ろうそくの液面燃焼(ろうそくの上面全体に炎が広がる状態)が発生していたと考えられるが、使用方法等の詳細が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2007/03/05)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2004-2547 2005/02/00 (事故発生地) 愛知県	塩化ビニル手袋 NHマイルド厚手 函入 MV ショーワ(株) 使用期間：1回	ビニール手袋を購入後、清掃の際初めて使用したところ、手に湿疹を発症し、徐々に悪化した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は、継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、ジオクチル錫化合物(安定剤)に対し陽性反応を示したことから、当該物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2005/03/07)
2004-2651 2004/10/12 (事故発生地) 兵庫県	塩化ビニル手袋 ピントップ厚手MV(B4 0507B) ショーワ(株) 使用期間：約1か月	家事の際、ビニール手袋を使用していたところ、手に湿疹を発症し、徐々に悪化した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、n-オクタノール構造を持つアジピン酸系ポリエステル(可塑剤)及びジオクチル錫化合物(安定剤)に対し陽性反応を示したことから、これらの物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2005/03/23)
2005-0919 2004/06/00 (事故発生地) 大阪府	塩化ビニル手袋 ヘルシー薄手MW ショーワ(株) 使用期間：不明	ビニール手袋を使用していたところ皮膚炎を発症した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、n-オクタノール構造を持つアジピン酸系ポリエステル(可塑剤)に対し陽性反応を示したことから、当該物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。」に変更する。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2005/08/31)
2005-1114 2005/09/00 (事故発生地) 新潟県	塩化ビニル手袋 ヘルシー薄手MP ショーワ(株) 使用期間：1回	ビニール手袋を使用していたところ皮膚炎を発症した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、n-オクタノール構造を持つアジピン酸系ポリエステル(可塑剤)に対し陽性反応を示したことから、当該物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2005/10/07)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-0716 2004/08/13 (事故発生地) 山口県	塩化ビニル手袋 ピニトップ薄手SW(D50108D) ショーワ(株) 使用期間：1回	ビニール手袋を使用していたところ皮膚炎を発症した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、n-オクタノール構造を持つアジピン酸系ポリエステル(可塑剤)及びジオクチル錫化合物(安定剤)に対し陽性反応を示したことから、これらの物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2006/06/27)
2006-0717 2006/06/05 (事故発生地) 山口県	塩化ビニル手袋 ビニール厚手MP ショーワ(株) 使用期間：1回	ビニール手袋を使用していたところ皮膚炎を発症した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、n-オクタノール構造を持つアジピン酸系ポリエステル(可塑剤)及びジオクチル錫化合物(安定剤)に対し陽性反応を示したことから、これらの物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2006/06/27)
2006-2678 2003/00/00 (事故発生地) 新潟県	塩化ビニル手袋 ビニール厚手LV ショーワ(株) 使用期間：不明	ビニール手袋を使用していたところ皮膚炎を発症した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、n-オクタノール構造を持つアジピン酸系ポリエステル(可塑剤)及びジオクチル錫化合物(安定剤)に対し陽性反応を示したことから、これらの物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2007/01/05)
2006-2679 2003/00/00 (事故発生地) 新潟県	塩化ビニル手袋 水カット中薄手袋LW ショーワ(株) 使用期間：不明	ビニール手袋を使用していたところ皮膚炎を発症した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、n-オクタノール構造を持つアジピン酸系ポリエステル(可塑剤)及びジオクチル錫化合物(安定剤)に対し陽性反応を示したことから、これらの物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2007/01/05)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2726 2006/12/00 (事故発生地) 山口県	塩化ビニル手袋 ブルーフィットM ショーワ(株) 使用期間：1回	ビニール手袋を使用していたところ皮膚炎を発症した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、ジオクチル錫化合物(安定剤)に対し陽性反応を示したことから、当該物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2007/01/10)
2006-2727 2006/12/00 (事故発生地) 山口県	塩化ビニル手袋 ヘルシー中厚手LG ショーワ(株) 使用期間：1回	ビニール手袋を使用していたところ皮膚炎を発症した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、ジオクチル錫化合物(安定剤)に対し陽性反応を示したことから、当該物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2007/01/10)
2006-2728 2006/12/00 (事故発生地) 山口県	塩化ビニル手袋 NHソフティ中厚手MP ショーワ(株) 使用期間：1回	ビニール手袋を使用していたところ皮膚炎を発症した。担当医師は、アレルギー検査の結果、使用していたポリ塩化ビニル手袋によるアレルギー性接触皮膚炎と診断した。 なお、被害者は継続的に塩化ビニル手袋を使用していた。	事故品から抽出・分離精製・検出した物質及び事業者から提供を受けた全配合剤で被害者にパッチテストを実施した結果、ジオクチル錫化合物(安定剤)に対し陽性反応を示したことから、当該物質との接触によりアレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。	平成19年1月に原因物質の特定に至り、即刻原因物質の使用を中止した後、医師及び被害者の協力によるパッチテスト結果に基づいた対策品を製造・販売し、従来配合の流通在庫との交換を行った。また、日本グローブ工業会を通じて、原因物質を通知するなど、業界全体としてアレルギーに対する取り組み強化を図った。 なお、従来から、異常を感じた場合は使用を中止する旨などの注意表示は行っている。	医療機関 (受付:2007/01/10)
2007-2913 2007/07/00 (事故発生地) 静岡県	懐中電灯(LED) 使用期間：約5日	付属のナイロンケースに入れた懐中電灯を畳の上に置いていたところ、何かのすみで電源スイッチが入り、30分から1時間後に気付いた時には、本体が持てないほど高温になっていた。	付属のナイロンケースに入った状態で懐中電灯が点灯したため、LEDの熱を放熱できず、本体の温度が通常よりも上昇することが確認できたが、火傷や発火等の危険がある温度上昇ではなかった。	製品には問題がない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/08/21)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2375 2007/07/16 (事故発生地) 滋賀県	懐中電灯(ラジオ付) L-207 (株)ヤザワコーポレーション 使用期間：約1日	ラジオ付き懐中電灯のラジオのスイッチ部分から白煙が出た。 (製品破損)	電池ボックスのプラス側端子が、製造時の組立不良により正規の位置からずれていたため、当該端子とラジオスイッチのはんだ付け部が接触して回路が短絡し、ラジオスイッチ部が異常発熱し、発煙したものと推定される。 (A2)	他に同種事故は発生しておらず、単品不良とみられる事故であるため、既製品については措置はとらなかった。 なお、電池ボックスの端子を固定する際の作業指導を徹底し、正規の位置に固定されているかの確認を実施している。	消費者センター (受付:2007/07/23)
2006-1512 2006/09/23 (事故発生地) 福井県	鞆(アタッシュケース) 使用期間：約1日1回	リサイクルショップで中を開けずに購入したアタッシュケースを自宅で開けたところ、中から鼻をつくようなにおいがし、頭痛や腰痛が起き、肌がチクチクした。 (軽傷)	事故品内部からトルエン、ホルムアルデヒド、ナフタレンの放散が認められたが、放散速度から推定される、およその室内空気濃度は、各々0.4、2.2、8.3µg/立方メートルとなり、厚生労働省が定める指針値等と比較して微量なものであった。鞆を開けた際、内部に蓄積された高濃度の化学物質に瞬間的に暴露されたと考えられるが、症状との因果関係は特定できなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2006/10/04)
2007-2061 2007/05/00 (事故発生地) 三重県	鞆(ハンドバッグ) エト口 #2421/99 06/600 三井物産(株) 使用期間：約1年1か月	ハンドバッグに使用されていた金属ブレードが外れて、バッグの外に飛び出し、洋服を破り、腿を傷つけた。 (軽傷)	バッグの口部分を固く平らにするために金属製ブレードを使用しており、ブレード両端の芯地貼り付け部に接着不良があったため、偶発的な力が加わったことでブレードが外れてバッグの外に飛び出し、洋服を破り、腿を傷つけたものと推定される。 (A2)	購入者が判明した商品及び在庫品については、ブレード全体に芯地を貼り付ける方法で修理し、その他の既製品については、修理済み品と交換することとした。 なお、輸入元に一層の製造・品質管理の徹底を要請し、また、輸入品のチェックをより厳格に行うこととした。	輸入事業者 (受付:2007/06/28)
2007-3439 2007/09/07 (事故発生地) 埼玉県	乾電池(アルカリ) 使用期間：約1か月	マイクロカセットレコーダーを畳の上に置いて数時間使用したところ、畳が焦げた。 (拡大被害)	使用済み電池と新しい電池を組み合わせて使用したために、使用済み電池が過放電となり、その反応により生じた水素ガスが安全弁から吹き出して、漏液に至ったものと推定される。 なお、漏れた液が畳に付着して反応し、畳が黒くなったものと推定される。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、ホームページに「古い電池と新しい電池を混ぜて使うと、破裂や液漏れの恐れがある」旨注意喚起している。	消費者センター (受付:2007/09/18)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2979 2007/08/21 (事故発生地) 佐賀県	乾電池（アルカリ） 使用期間：不明	目覚まし時計を乾電池を入れるふたがないまま使用していたところ、乾電池が外れそうになっていたため指で押し込んだ時に乾電池が発熱していたため、指に火傷をした。 (軽傷)	被害者が目覚まし時計の底側にある電池ボックスのふたを紛失しており、使用時に装填していた電池がずれることから、再装填を繰り返し行うことにより、電池ボックスの内の負極端子の先端が、電池負極側の外装ラベルの端部をめぐりあげてしまい、それに気づかないまま使用し続けたため、電池ボックスの負極端子を介して電池の正極と負極が短絡し発熱・漏液したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、ホームページに電池の外装ラベルのはがれや傷は、電池のショートのもとになる旨、注意喚起している。	市町村 (受付:2007/08/24)
2007-3050 2007/08/05 (事故発生地) 不明	乾電池（アルカリ） 使用期間：不明	ポータブルオーディオにアルカリ乾電池4本を使用し、ポケットに入れていたところ、乾電池から液漏れし左太腿部にやけどを負った。 (軽傷)	1本のアルカリ電池が液漏れしており、充電された痕跡（開路電圧の上昇及びセパレーターに亜鉛の析出）が認められることから、使用者が当該電池を逆装填したために電池が充電され、内部圧力により安全弁が作動し、電解液が漏れたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	販売事業者 (受付:2007/08/28)
2007-3853 2007/09/22 (事故発生地) 岡山県	乾電池（アルカリ） 使用期間：約3か月	単4の乾電池2本をエアコンのリモコンに入れて使用したところ、リモコンが熱くなり、乾電池が膨張していた。 (拡大被害)	リモコンの電池ボックスは、ふたの嵌合爪が変形し、完全にスライド嵌合できない状況であり、また、一方の負極端子のコイルスプリングが内側に向かって大きく変形していたことから、乾電池を装填する際、無理な力が加わりスプリングが変形し、電池負極側の外装ラベルの端部に傷を付けてしまい、それに気づかないまま使用し続けたため、電池ボックスの負極端子を介して電池の正極と負極が短絡し発熱・漏液したものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、機器の負極端子がコイルスプリングの場合は、上部から押さえず、横からスライドさせて装填する様に注意喚起する表示を検討している。	消費者センター (受付:2007/10/22)
2006-1605 2006/09/00 (事故発生地) 愛知県	乾電池（アルカリ） 使用期間：約2年	時計が遅れてきたため、電池交換をしようとしたところ、乾電池が液漏れしており、時計及び壁を汚損した。 (拡大被害)	事故品の金属製外郭ケースに液漏れに至るような傷はなく、外郭ケースのかん合部に接している外装ラベルに、液漏れが生じた痕跡が認められないことから、製品に起因する事故ではないものと推定される。 なお、マイナス極側の外装ラベル端部に、液体が染みこんだ跡が認められたが、外部から付着したものと推定される。 (F2)	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者 (受付:2006/10/13)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-3371 2007/08/12 (事故発生地) 静岡県	乾電池（アルカリ単2形） 使用期間：約7日	おもちゃに装填していたアルカリ乾電池を取り外し、畳の上に置いていたところ、畳が黒くなった。 (拡大被害)	乾電池は内圧の上昇によって容器が膨らみ、内部の封口材が割れて液漏れを生じていたが、乾電池に内圧上昇に至るような異常は確認できず、また、乾電池に発熱した痕跡も確認できないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2007/09/12)
2007-3317 2007/08/31 (事故発生地) 東京都	乾電池（マンガン） 使用期間：不明	テレビのリモコンが効かなくなったので、乾電池（単3マンガン乾電池2個）を確認したところ、片方の乾電池が火傷をしそうなくらい熱くなっていた。使用した乾電池は、2～3ヶ月前に2本新品のものを入れており、事故が起こるまではリモコンは問題なく使用できた。 (被害なし)	電池発熱の原因は、内部短絡が考えられるものの、乾電池内部に異常は確認されず、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2007/09/07)
2006-3727 2007/03/05 (事故発生地) 東京都	簡易ガスライター AS-106 ガーネット (株)エーワンアンドサイ ト 使用期間：不明	簡易ガスライターが、ポケットから地面に落ちた際に破裂した。 (製品破損)	同等品を用いて落下試験を行ったところ破損がみられたことから、落下時の強度が不足しており、ポケットから地面に落ちた衝撃で容器が破損し、内圧に耐えられなくなって破裂したものと推定される。 (A2)	販売を中止し、製造工程の改善及び品質管理の強化を行う。	消費者 (受付:2007/03/07)
2007-2610 2007/07/26 (事故発生地) 福井県	簡易ガスライター 不明 (株)トレビ 使用期間：約2日	前日に飲食店でもらった簡易ガスライターで、たばこに火をつけるために使用したところ、大きな炎が出て消えなくなった。玄關のコンクリートに投げ出して火は消えたが、近寄るとガスの噴出する音がしていた。ライターをもらった当日も2～3回使用したが、その時は使用に支障はなかった。 (被害なし)	製造工程中に、風防内に混入した余分な部品（しびれ防止のアース）が、事故の直前にノズル押し上げレバーとフィルターの間に挟まり、ノズル押し上げレバーが戻らなくなると同時に着火レバーも戻らなくなり、ガスが噴出し続け消火しなかったものと推定される。 (A3)	他に同種事故はなく、単品不良とみられる事故であるため措置はとらなかった。 なお、生産現場及び輸入後の着火検査を強化し、品質管理の徹底を図った。	消費者センター (受付:2007/07/27)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 年月日
2007-2836 2007/08/06	簡易ガスライター レインボー ヤスリ式 (有)YM KIKAKU 使用期間：約6年	簡易ガスライターを使用したところ、大きい炎が上がり髪の毛が焦げた。 (軽傷)	長期使用（保管）により、ガス流量を調節するスポンジ（ポリウレタン製）が劣化し、ガス流量の調節が不十分となったため、着火時に大きな炎となり、髪の毛を焦がしたものと推定される。 なお、事故品は製造から少なくとも6年は経過している。	経年劣化による事故とみられるが、今後の製品について、製造年月日などの表示を検討することとした。	消費者 (受付:2007/08/13)
2006-3849 2007/03/12	簡易ガスライター 使用期間：不明	木造2階建て住宅から出火して、部屋にあった電動の介護用ベッドが焼け、ベッドにいた家人1人が死亡した。 (死亡)	お菓子の袋を開けるためライターを使用したため、袋に火がつき、これがベッドの上に落ち火災に至ったものと推定される。	被害者の誤使用とみられる事故のため措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/03/15)
2007-2234 2007/06/16	簡易ガスライター 使用期間：未使用	未使用のライター3個を天窓下の机の上に置いていたところ、1個がパラバラに壊れた。 (製品破損)	被害者は事故品を天窓下に3時間程度放置していたことから、天窓からの直射日光によってライターが過熱され、内圧が上昇し破裂したものと推定される。 なお、天窓から直射日光があたる範囲が限定されることから、位置がやや異なっていたために他の2個のライターは破裂に至らなかったものと考えられる。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/07/10)
2006-0282 2006/03/10	簡易ガスライター 使用期間：約1日1回	ライターでたばこに火をつけた後、ライターをテーブルに置いたところ、そばに置いていた玩具に着火し、その一部を焦がした。 (拡大被害)	小石状の異物がノズル押上レバーの下に挟まった状態で点火動作を行ったため、点火動作終了後もレバーが完全に戻らず、残火が生じたものと推定される。	偶発的に発生した事故であるが、品質管理の強化及び安全点検を実施する。	消費者 (受付:2006/04/27)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2680 2006/12/23 (事故発生地) 愛知県	簡易ガスライター 使用期間：約6日	ライターをたばこケースに入れて鞆の中に入れていたところ、焦げ臭いにおい気付いて鞆を見たら煙が出ており、鞆の一部などが焦げた。	ライターをたばこケースに差し込むと着火レバー部分が飛び出す上、鞆の中で固定されやすくなることから、外力により着火レバーが押されて点火し、出火に至ったものと推定される。 なお、事故品は正常に着火・消火ができ、ガス漏れ及び残火の異常もなく、着火レバーの押し込み力はSG基準等を満足していた。	偶発的な事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/01/05)
2006-1430 2006/08/25 (事故発生地) 三重県	簡易ガスライター 使用期間：不明	自動車内でライターを点火したところ、手の中で炎が広がったので車外へ投げ捨て、手の指2本が赤くなった。ライターは、車外で爆発して道路の表面が直径60cmほど黒くなった。	ライターのガス充填部のケース（AS樹脂）に軟化による穴（直径2ミリ）が確認されたことから、着火時にここから漏れた可燃性のガスに引火したものと推定されるが、軟化した原因については特定できなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2006/09/26)
2006-2681 2006/11/30 (事故発生地) 愛知県	簡易ガスライター 使用期間：不明	ライターをズボンのポケットに入れ、石油ファンヒーターの前で寝ていたところ、突然ライターが破裂し大腿部に火傷を負った。	事故品を確認したところ、ライターの上部は消失していたものの、ガス充填部のケースには、破裂や亀裂の形跡がなかったことから、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター (受付:2007/01/05)
2006-3169 2007/01/29 (事故発生地) 広島県	簡易ガスライター 使用期間：不明	たばこを吸おうとライターを持ったところ、上部が熱くなっており、指先を火傷しテーブルの上に掛けていたナイロン製のクロスが焦げた。	事故の状況から残火の可能性が高いが、事故時の詳細な状況が不明であり、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	消費者センター 製品評価技術基盤機構 (受付:2007/02/02)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3275 2007/01/30 (事故発生地) 広島県	簡易ガスライター 使用期間：約1か月	たばこにライターで火をつけた後、ライターを車のドアの取っ手部分に入れ、数時間後、再度使用したところなかなか火が消えず、左手親指を火傷した。また、ライターが変形しており、ライターを入れていた車のドアの取っ手部分が溶けていた。 (軽傷)	ゴミ等の異物が入り開閉板(ガスを出す板)が開いた状態になり火が消えなかった可能性が高いが、事故時の詳細な状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるが、出荷前に再度着火検査を行い品質管理を強化することとした。	消費者センター (受付:2007/02/07)
2006-3434 2007/02/01 (事故発生地) 福井県	簡易ガスライター 使用期間：不明	下足箱に入れていたプラスチック製容器から出火し下足箱の一部を焦がした。 (拡大被害)	容器内にはライターと共に複数の小物を入れており、容器内の小物を出し入れした際、又は容器を下足箱から出し入れした際にライターの着火レバーに外力が加わったものと推定されるが、事故時の詳細な状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関 (受付:2007/02/19)
2006-3638 2006/06/10 (事故発生地) 東京都	簡易ガスライター 使用期間：不明	ガスライターでたばこに点火したところ、ライターが炎上し、右手人差し指に火傷を負った。 (軽傷)	事故の状況等から、漏れていたライターの燃料ガスに引火した可能性が高いが、事故品の焼損が著しく原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	財団法人製品安全協会 (受付:2007/03/02)
2007-0790 2006/12/31 (事故発生地) 埼玉県	簡易ガスライター 使用期間：約10年	車を運転中に、たばこに点火し、ガスライターを助手席に置いたところ、助手席の座ぶとんから炎が出て左手に火傷を負った。 (軽傷)	事故の状況等から残火が発生したものと推定されるが、当該ライターは瞬時に消火し異常は認められなかったことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	財団法人製品安全協会 (受付:2007/05/17)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1569 2007/05/21 (事故発生地) 三重県	簡易ガスライター 使用期間：約1日	ライターでたばこに着火後、自動車の灰皿の上に置いたところ、周辺が焦げた。上着で消火した際に指に2度の火傷を負った。 (軽傷)	ライター使用直後の事故であることから、使用後もバルブが閉まらず、火がついたままになったものと考えられるが、事故品の点火・消火操作は正常にでき、異常が確認できないことから、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因は不明であるため、措置はとれなかった。 なお、使用部材の品質管理を強化すると共に、検品時の着火・消火確認作業を徹底する。	消費者センター (受付:2007/06/12)
2007-4225 2007/09/21 (事故発生地) 徳島県	簡易ガスライター 使用期間：不明	木造平屋の納屋で、風防を取り外した簡易ガスライターを使用した後、その場に置き去ったところ、納屋から出火し、約14平方メートルの納屋を全焼し、隣接する木造の母屋にも延焼して約12平方メートルを焼いた。 (拡大被害)	放置した簡易ガスライターが火元と考えられるが、焼損が著しく、出火した原因の特定はできなかった。 (G1)	製造業者等は不明であり、事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/11/02)
2007-0864 2007/05/07 (事故発生地) 石川県	簡易ガスライター（着火器具） W-20B ワンタッチマンライター ニッコー（株） 使用期間：約1か月	棒状の着火器具を野焼き用火炎バーナーの点火に使用した後、ノズルを上に向けてスポンのポケットに入れていたところ、シャツを焦がした。 (拡大被害)	事故品を用いた着火試験において残火が再現されたことから、被害者が残火に気付かずポケットに入れたため、シャツを焦がしたものと考えられる。事故品には、ガス流量を調整する弁ゴムや多孔質層に変形や異物が確認されたことから、これらの不良箇所の影響で消火操作時のガス遮断性が不安定となり、残火が発生したものと推定される。 (A2)	店頭告知による周知を行うこととした。 なお、当該製品の輸入は中止し、在庫品は全て再検品することとした。	消費者センター (受付:2007/05/21)
2006-0800 2006/07/05 (事故発生地) 福岡県	携帯電灯（電池式） 使用期間：約1日1回	携帯電灯をたんすの上に置いていたところ、熱くなって中のプラスチックが溶けていた。 (製品破損)	乾電池のマイナス極側から電球ソケットのマイナス端子に接続される導電板が、大きく折れ曲がっていたため、スイッチを入れた際に乾電池のプラス極に接触したことによりショートして発熱し、本体の樹脂が溶融したものと推定される。 なお、導電板は、何らかの強い力が加えられたことにより折れ曲がりが生じたものとみられるが、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因は不明であり、他に同種事故が発生していないことから、既製品については措置はとらなかった。 なお、今後、製造工場での金具の検査を徹底する。	消費者センター (受付:2006/07/10)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2323 2007/07/15 (事故発生地) 沖縄県	耕耘機（歩行型） 使用期間：不明	畑で手押し耕耘機を運転していた男性が死亡した。 (死亡)	方向転換時に操作ミスで横転し、耕耘機のローターブレードの刃に巻き込まれたものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/07/19)
2006-3943 2007/03/13 (事故発生地) 鹿児島県	耕耘機（歩行型） 使用期間：不明	男性が手押し型耕耘機で農作業中、約3メートル下の市道に耕耘機ごと転落して死亡した。 (死亡)	被害者の操作ミスによる事故とみているが、目撃者がいないため詳細が不明なため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/03/22)
2007-2123 2007/06/23 (事故発生地) 鹿児島県	耕耘機（歩行型） 使用期間：不明	畑で、耕耘機を運転していた男性が、物置小屋と耕耘機のハンドルに胸を挟まれ死亡した。 (死亡)	被害者の操作ミスによる事故とみているが、目撃者がいないため詳細が不明なため、原因の特定はできなかった。 (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/07/03)
2006-3940 2007/02/26 (事故発生地) 熊本県	財布 ディズニーポーチ (株)大創産業 使用期間：不明	財布の中を開けたところ、半分折れたミシン針の破片が入っていた。 (被害なし)	出荷前に検針を行っていたが、製造過程で混入した縫い針が検出されずに出荷されたものと推定される。 (A3)	他に同種事故はなく単品不良とみられる事故のため、措置はとらなかった。 なお、検針記録や折れ針記録によるチェックを強化するとともに、検針が行われているかを確認する監視カメラを設置するなど、品質管理体制の強化を行うこととした。	消費者センター (受付:2007/03/20)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-1948 2006/11/00 (事故発生地) 大阪府	傘（折り畳みジャンプ式） 使用期間：不明	折り畳み傘を開こうとボタンを押したところ、激しい勢いで柄が飛び出した。 (被害なし)	シャフトが飛び出すためと親骨や受骨等を開くためにスプリングの力を伝える紐のうち、親骨や受骨等を開くための紐が切れていたことから、スプリングの力がシャフトを飛び出すためのみに作用したため、正常より勢いよく飛び出したものと推定されるが、購入後1ヶ月間の保管状態を含めいつどのようにして紐切れが発生したかの特定はできなかった。 (G1)	スプリングの力を伝える紐の経を太くし、開閉検査の強化を実施する。	消費者センター (受付:2006/11/14)
2007-0596 2007/03/18 (事故発生地) 岡山県	接着剤 スーパーロングチャック 株式会社タマス 使用期間：不明	卓球ラケットのラバーを張り替えるため接着剤を使用中、のどが腫れ、気道がふさがるショック症状を起こし、意識不明に陥った。 なお、被害者にはアレルギー等の特段の既往症はなかった。 (重傷)	被害者の症状は、アナフィラキシー様ショックと診断されたが、当該製品から原因物質の特定はできなかった。 (G1)	厚生労働省による回収の指導があり、平成19年5月9日付けでホームページ及び専門誌に社告を掲載し、回収を実施している。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/05/11)
2007-2938 2007/07/13 (事故発生地) 大阪府	線香（芳香用） アロマ線香 コーンタイプ (有)エフ・マイル インターナショナル プランニング 使用期間：不明	使用後のコーンタイプのアロマ線香をゴミ箱に捨てたところ、ゴミ箱内から出火し、紙屑と周辺に置いていたトレーニングウエアなどを焼損した。 (拡大被害)	内部に火種が残っていることに気付かず、発煙が終息した線香をゴミ箱にそのまま捨てたため、火種がゴミ箱内の可燃物に着火し、火災に至ったものと推定される。 なお、事故品はばらで販売されており、包装や表示がなかった。 (B4)	店頭のPOP表示を具体的に表記し注意喚起するとともに、販売時に直接注意を行うこととした。 なお、当機構は平成19年9月12付けの製品安全情報マガジンNO.56号にて、コーンタイプの線香の場合、発煙が終息していても火種が残っている可能性があるため、完全に火が消えたことを確認してから捨てる旨の注意喚起を行った。	消防機関 (受付:2007/08/22)
2007-0364 2007/03/00 (事故発生地) 北海道	脱毛器（電池式） 使用期間：約1日1回	脇の下の脱毛を行うため、脱毛器を使用したところ、脇の肉を挟み傷ができた。 (軽傷)	脱毛器に不具合は認められなかったことから、取扱説明書に記載されている禁止行為（肌強く押しつけない。また、同じ部位を何回もこすったりジグザグに動かしたりしない。）を行ったため、事故に至ったものと推定される。 (E1)	被害者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター (受付:2007/04/20)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3197 2007/01/31 (事故発生地) 長野県	置時計 使用期間：約1か月	幼児が置時計で遊んでいたところ、誤って中に入っていたボタン電池を飲んでしまい、病院で摘出処置を受けた。 (軽傷)	当該品が幼児の手の届く場所に置いてあり、幼児が遊んでいたところ、電池カバーがスライド式だったため開いてしまい、中のボタン電池が外れ飲み込んだものと推定される。 なお、当該品はビールの販促用で大人向けの商品であり、取扱説明書には、子供の手の届かないところに保管するよう記載している。 (E2)	取り扱い説明書の注意喚起を最上段に記載し、誤飲注意を促す文言を記載したテープで電池を固定した。 (受付:2007/02/05)	販売事業者
2006-2237 2006/11/24 (事故発生地) 北海道	保温シート(省エネシート) 使用期間：約14日	省エネシートを石油ストーブの前のラグの下に敷き、ストーブを「弱」にして約7時間寝ていたところ、右脇腹付近に低温火傷を負った。 (軽傷)	温度測定試験を行った結果、省エネシートの有無による温度の違いはほとんど認められなかったことから、石油ストーブの近くで寝たことにより低温火傷を負ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 (受付:2006/12/06)	消費者センター